平成２７年度
ユニークベニュー調査業務委託事業

報　告　書

平成２８年２月

周　南　市

（事業委託先：株式会社成研）

目　次

Ⅰ．事業の概要 1
１．背景 1
２．調査目的 1
３．調査内容 1

Ⅱ．主催者のニーズ分析調査 2
１．調査概要 2
２．調査結果のまとめ 3
３．調査結果 4

Ⅲ．先進的な取組事例の収集 19
１．調査概要 19
２．調査結果のまとめ 20
３．調査結果 22

Ⅳ．市内資源の洗い出し及び活用可能性の検証 37
１．概要 37
２．ワーキンググループ 37
３．議事録 39

Ⅴ．ユニークベニュー活用プランの作成 50
１．基本的な考え方 50
２．周南市 ユニークベニュー 50
３．ユニークベニュー活用にあたって 64

Ⅰ．事業の概要

１．背景

周南市では、交流人口の増大を通して地域の活性化を図るため、平成 24 年度からコンベンション（各種大会、企業等の会議、講演会、展示会）の誘致、開催に積極的に取り組んでいる。

これまで、コンベンション開催補助金の創設やノベルティグッズ等の作成をはじめとした開催支援メニューの充実を図るとともに、コンベンションの参加者等への観光パンフレット等の提供、会場における特産品販売等のおもてなし対応、受入体制の強化を行った。

このような中、平成 26 年度は主催者のニーズ分析及び市内で開催されるコンベンションの消費実態調査を行い、コンベンション誘致戦略の方向性を定めた。

このことを踏まえ、平成 27 年度は、経済効果の高いコンベンションの主催者が関心を示しているユニークベニューについて、調査・研究を行い、ユニークベニュー活用プランを定め、今後、誘致提案力の強化を図りつつ官民一体となった誘致活動を重点的に実施する。

２．調査目的

本調査事業は、コンベンションに係る誘致提案力の強化を図ることを目的として、ユニークベニューに係る主催者のニーズ分析、全国の取組事例の収集、市内地域資源の洗い出し及び活用可能性の検証を行い、ユニークベニュー活用プランを定める。

３．調査内容

○主催者のニーズ分析調査

○先進的な取組事例の収集

○市内資源の洗い出し及び活用可能性の検証

○ユニークベニュー活用プランの作成

Ⅱ．主催者のニーズ分析調査

１．調査概要

（１）調査対象

周南市と協議の上、選定した 70 コンベンション（中国大会以上の規模を想定）の主催団体

＜内訳＞

コンベンションの分類	調査対象団体数	調査協力団体数
スポーツ系	24	8
ビジネス系※	35	11
国際会議	11	4
計	70	23

※ビジネス系は、企業や学会の会議、業界団体等の総会や定期大会、研究発表会研修会、展示会、商談会など幅広い概念で捉えている。

（２）調査方法

○電話による調査協力依頼

※連絡先・担当者が不明なコンベンションについては、インターネット等で調査

○依頼状・調査票をＦＡＸにて送信

※必要に応じて電話によるフォローを実施

○調査票の回答内容に基づく電話ヒアリング調査の実施

（３）調査内容

○ユニークベニューの必要性、関心の度合い

○求められる会場の種類、規模

○ユニークベニューの利用形態、利用料

○開催地決定の影響（寄与）度

○実際に活用して良かった事例

○その他必要な事項

（４）調査期間

平成 27 年 7 月

（５）集計・分析

調査内容ごとに単純集計に加え、コンベンション分類別や内容別のクロス集計を行っているが、クロス集計結果については、サンプル数が少ないため、参考に留めておくことが望ましい。

２．調査結果のまとめ

（１）ユニークベニューの活用状況について

ユニークベニューの活用実績を有する主催者は 23 団体中３団体（13%）、活用されたユニークベニューは３施設であった。そのうち２施設（明治会館、国際文化会館）については、確かに歴史的建造物であり景観的にも優れているものの、コンベンションのための施設として広く認知されており、本当の意味での特別感のあるユニークベニューは松江城のみであった。

なお、周南市のユニークベニューについて、主催者としてではなく、参加者としての経験から、以下のような声が聞かれた。

> 過去に参加したスポーツ大会で、メイン会場はキリンビバレッジ周南総合スポーツセンターで、会議、懇親会、宿泊が湯野温泉だったことがあるが、料理もおいしく、温泉もあったので好評だった。

（２）ユニークベニューの活用意向について

ユニークベニューの活用実績を持つ団体が少ないこともあり、その必要性については主催者の 65.2%が「どちらともいえない」と回答している。電話によるヒアリングでも、ユニークベニューの活用について、「具体的なイメージがわかない」、「ユニークベニューのことを今回の調査で初めて知った」といった声が複数聞かれた。

その一方で、主催者の 73.9%が「ユニークベニューはコンベンション開催地の選択に影響を与える」と回答しており、約７割がユニークベニューの活用に関心を持っている。なお、スポーツ系コンベンションの場合、メイン会場でユニークベニューを活用することは難しく、ユニークベニューの活用が想定できるのは「会議」と「懇親会」に限られる。

ユニークベニューの種類については、最も支持が高いのは「歴史的建造物」であった。「美術博物館」「景色の美しい場所」「自然豊かな場所」「温泉地」なども複数から支持されている。

（３）ユニークベニューの具体的な活用について

ユニークベニューの具体的な活用については、「懇親会・レセプション」と「講演・発表」が比較的高くなっている。

「懇親会・レセプション」については、現時点においては、ホテルや飲食店（レストラン・料亭等）を使用しているケースが多いが、「開催地の決定は各地のコンベンションビューローや地方自治体からの提案をもとに選定する」としている主催者もあり、他の条件が同じ場合、ユニークベニューを活用した魅力的な提案ができればコンベンション誘致の決め手となり得る。

３．調査結果

（１）調査協力団体（コンベンション主催団体）概要

調査にご協力いただいた団体が主催するコンベンションの分類、窓口所在県、ユニークベニュー活用意向のあるコンベンションの内容と参加人数は以下の通り。

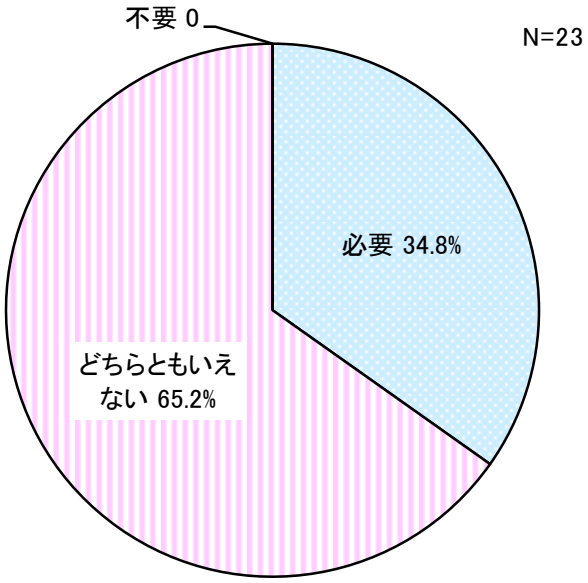
No	コンベンションの分類	所在県	ユニークベニュー活用意向のあるコンベンション　参加人数						
			講演	展示	役員会	会議	分科会	懇親会	メイン大会
1	国際会議	東京都				30～50人未満		300～500人未満	
2	国際会議	東京都	100～300人未満	100～300人未満		30～50人未満	30～50人未満	100～300人未満	
3	国際会議	群馬県	100～300人未満	100～300人未満	30～50人未満			100～300人未満	
4	国際会議	東京都	100～300人未満	100～300人未満				100～300人未満	
5	ビジネス系	東京都	1000人以上				100～300人未満	1000人以上	
6	ビジネス系	東京都	100～300人未満		50～100人未満	300～500人未満	50～100人未満	50～100人未満	
7	ビジネス系	神奈川県							
8	ビジネス系	東京都	300～500人未満	300～500人未満	50～100人未満			300～500人未満	
9	ビジネス系	岡山県							
10	ビジネス系	茨城県	500～1000人未満	300～500人未満	30～50人未満			300～500人未満	
11	ビジネス系	東京都	300～500人未満			50～100人未満			
12	ビジネス系	東京都	300～500人未満			300～500人未満		50～100人未満	
13	ビジネス系	東京都	300～500人未満						
14	ビジネス系	東京都	100～300人未満	100～300人未満	30～50人未満	30～50人未満		100～300人未満	
15	ビジネス系	東京都			30～50人未満	100～300人未満	50～100人未満	100～300人未満	
16	スポーツ系	東京都							1000人以上
17	スポーツ系	山口県				30～50人未満		30～50人未満	100～300人未満
18	スポーツ系	山口県							
19	スポーツ系	山口県				50～100人未満		30～50人未満	300～500人未満
20	スポーツ系	山口県				50～100人未満		100～300人未満	100～300人未満
21	スポーツ系	岡山県				30～50人未満			300～500人未満
22	スポーツ系	山口県				30～50人未満		30～50人未満	100～300人未満
23	スポーツ系	山口県							

※調査協力を得られた 23 団体のうち、４団体についてはユニークベニューの活用意向が無かった。

（２）ユニークベニューは必要だと思うか（単数回答）

○ユニークベニューが必要かどうかについては、３分の１以上が「必要」(34.8%)と回答している。

○ユニークベニューは「不要」とする主催者は皆無であった。



＜コンベンション分類別＞

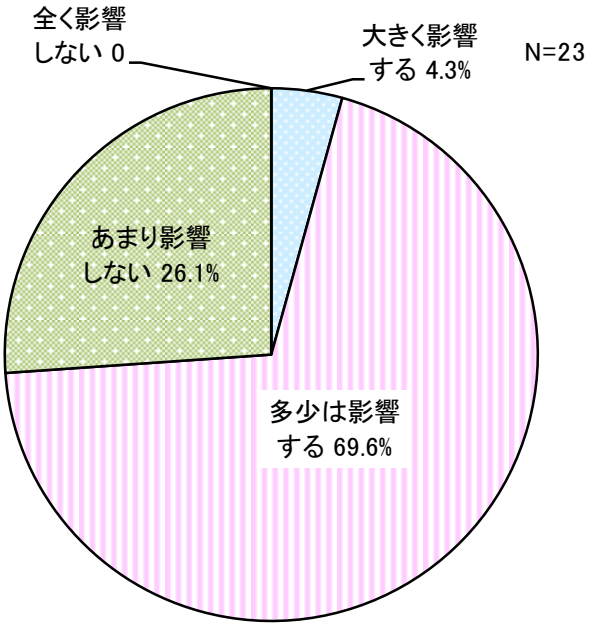
○コンベンションの分類別で見てみると、「必要」の比率が高い順に、「国際会議」、「ビジネス系」、「スポーツ系」となっている。

項目	単位	必要	どちらともいえない	不要
全体 (N=23)	件	8	15	0
	%	34.8	65.2	0.0
国際会議 (N=4)	件	2	2	0
	%	50.0	50.0	0.0
ビジネス系 (N=11)	件	4	7	0
	%	36.4	63.6	0.0
スポーツ系 (N=8)	件	2	6	0
	%	25.0	75.0	0.0

（３）ユニークベニューは開催地の選択に影響を与えるか（単数回答）

○ユニークベニューが開催地の選択に影響を与えるかどうかについては、「大きく影響する」(4.3%)と「多少は影響する」(69.6%)を合わせた 73.9%が「影響する」としている。

○ユニークベニューは開催地の選択に「全く影響しない」とする主催者は皆無であった。



＜コンベンション分類別＞

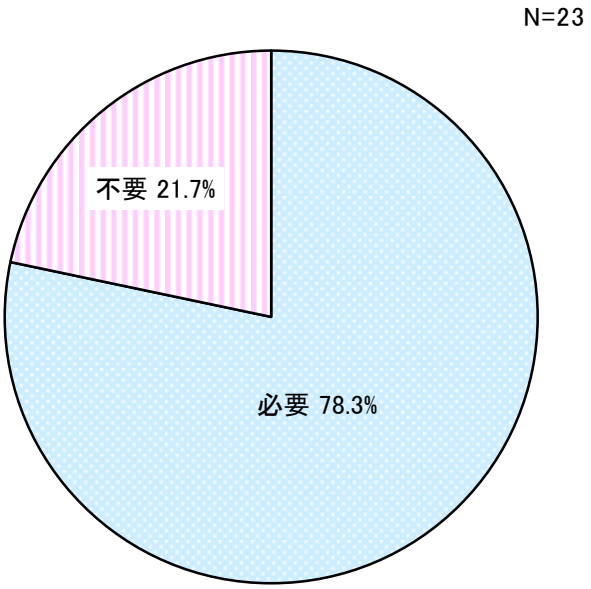
○「大きく影響する」と回答しているのは、ビジネス系１団体のみであった。

○すべてのコンベンション分類で「大きく影響する」と「多少は影響する」の合計が７割台(国際会議：75.0%、ビジネス系：72.7%、スポーツ系 75.0%)を占める。

項目	単位	大きく影響する	多少は影響する	あまり影響しない	全く影響しない
全体 (N=23)	件	1	16	6	0
	%	4.3	69.6	26.1	0.0
国際会議 (N=4)	件	0	3	1	0
	%	0.0	75.0	25.0	0.0
ビジネス系 (N=11)	件	1	7	3	0
	%	9.1	63.6	27.3	0.0
スポーツ系 (N=8)	件	0	6	2	0
	%	0.0	75.0	25.0	0.0

（４）ユニークベニューの活用に関する支援メニューは必要か（単数回答）

○ユニークベニューの活用に関する支援メニューが必要かどうかについては、「必要」(78.3%)が８割弱を占める。



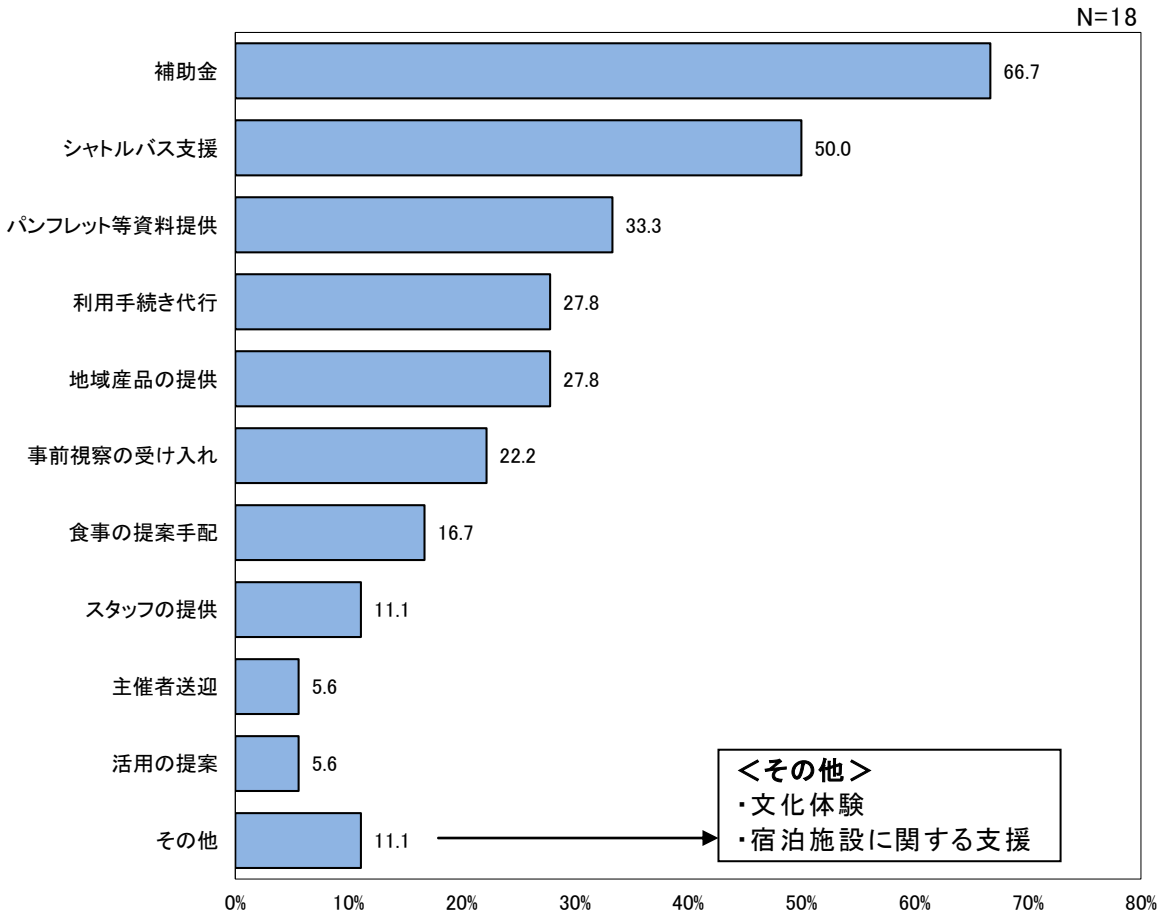
＜コンベンション分類別＞

○コンベンションの分類別でも大きな差異は見られない。

項目	単位	必要	不要
全体 (N=23)	件	18	5
	%	78.3	21.7
国際会議 (N=4)	件	3	1
	%	75.0	25.0
ビジネス系 (N=11)	件	9	2
	%	81.8	18.2
スポーツ系 (N=8)	件	6	2
	%	75.0	25.0

（５）どのような支援メニューが必要か（３つまでの複数回答）

○ユニークベニューの活用に対する支援メニューについては、「補助金」(66.7%)が最も多く、次いで、「シャトルバス支援」(50.0%)、「パンフレット等資料提供」(33.3%)の回答が多い。



＜コンベンション分類別＞

○コンベンションの分類別でみてみても、全ての分類で「補助金」が最も高い。

項目	単位	補助金	ｼｬﾄﾙﾊﾞｽ支援	主催者送迎	利用手続き代行	スタッフの提供	事前視察の受け入れ	ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ等資料提供	食事の提案手配	地域産品の提供	活用の提案	その他
全体(N=18)	件	12	9	1	5	2	4	6	3	5	1	2
	%	66.7	50.0	5.6	27.8	11.1	22.2	33.3	16.7	27.8	5.6	11.1
国際会議(N=3)	件	2	2	0	0	1	2	1	0	0	1	1
	%	66.7	66.7	0.0	0.0	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3
ビジネス系(N=9)	件	6	5	1	2	0	1	2	2	4	0	1
	%	66.7	55.6	11.1	22.2	0.0	11.1	22.2	22.2	44.4	0.0	11.1
スポーツ系(N=6)	件	4	2	0	3	1	1	3	1	1	0	0
	%	66.7	33.3	0.0	50.0	16.7	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0

＜電話ヒアリングによる補足＞

「シャトルバス支援」

・宿泊施設と会場の移動での支援を希望する。（国際会議）

・他の自治体で開催した際、自治体がシャトルバスを用意してくれた。（国際会議）

・会場間（講演会・懇親会・宿泊施設）のアクセスが良いことが望ましい。会場間が遠い場合は送迎支援が助かり、参加者の満足度向上にも繋がる。（ビジネス系）

・懇親会会場に移動する際に使用することがある。（ビジネス系）

・選手及び関係者のホテルと球場間の移動で必要である。（スポーツ系）

「利用手続き代行」

・ユニークベニューを活用した際、手続等を一括で代行して頂けるのであれば、利用しやすくなると思う（例えばホテルなどは電話１本で対応できる）。（ビジネス系）

「事前視察の受け入れ」

・毎回事前視察を行っている。（国際会議）

・ユニークベニュー会場での開催が可能かどうかの確認も含め、事前視察を希望する。（国際会議）

・過去に宿泊費、交通費を全額補助してくれた自治体があった。（ビジネス系）

・事前視察の際に、少人数での懇親会を飲食店で行うことはあるが、積極的にユニークベニューを活用したいというほどではない。（スポーツ系）

「食事の提案手配」

・レセプションの際の支援を希望する。（ビジネス系）

「地域産品の提供」

・コンベンション会場内での物品（お土産）販売を希望する。（ビジネス系）

・過去に実例があるわけではないが、お土産物の提供を希望する。（ビジネス系）

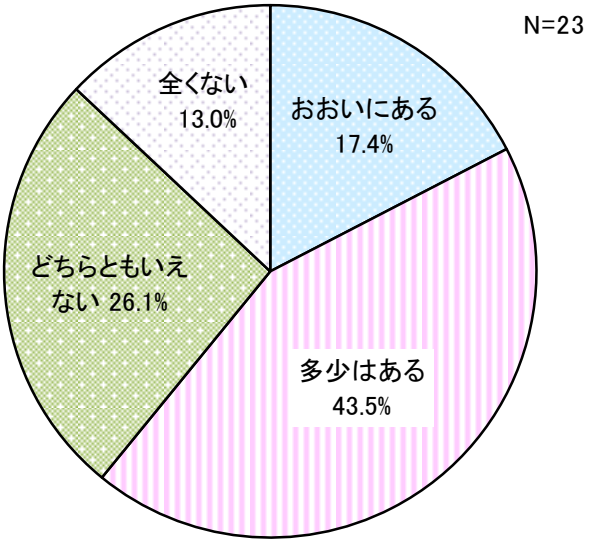
「その他」

・レセプションでの日本文化体験や能楽鑑賞などアトラクションを希望する。（国際会議）

（６）ユニークベニューの活用に関心があるか（単数回答）

○ユニークベニューの活用に関心があるかどうかについては、「おおいにある」(17.4%)と「多少はある」(43.5%)を合わせた約６割が関心を持っている。

○ユニークベニューの活用に対する関心が「全くない」(13.0%)と回答した主催者は１割強であった。



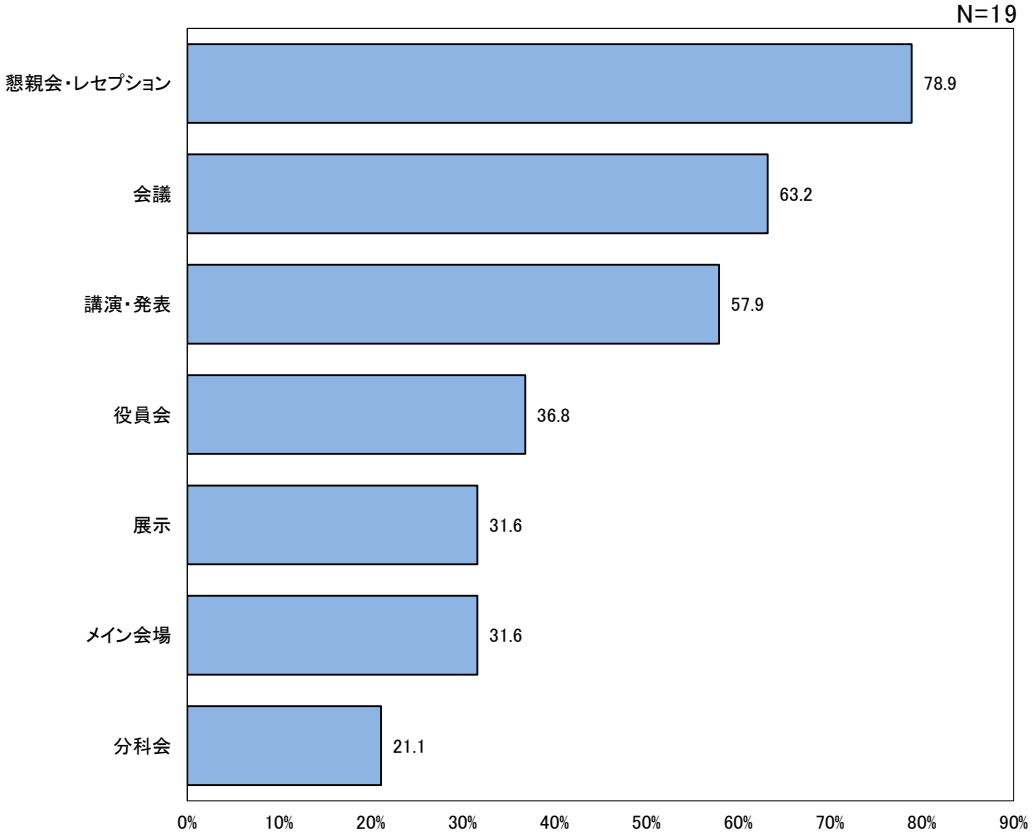
＜コンベンション分類別＞

○コンベンションの分類別でみてみると、「おおいにある」と「多少はある」の比率の合計は、「国際会議」、「ビジネス系」、「スポーツ系」の順に高く、「国際会議」では全ての主催者がユニークベニューの活用に関心があると回答している。

項目	単位	おおいにある	多少はある	どちらともいえない	全くない
全体 (N=23)	件	4	10	6	3
	%	17.4	43.5	26.1	13.0
国際会議 (N=4)	件	1	3	0	0
	%	25.0	75.0	0.0	0.0
ビジネス系 (N=11)	件	1	5	3	2
	%	9.1	45.5	27.3	18.2
スポーツ系 (N=8)	件	2	2	3	1
	%	25.0	25.0	37.5	12.5

（７）コンベンションの内容（複数回答）

○コンベンションの内容については、「懇親会・レセプション」(78.9%)が最も多く８割弱を占め、次いで、「会議」(63.2%)、「講演・発表」(57.9%)の回答が多い。



＜コンベンション分類別＞

○コンベンションの分類別でみてみると、「国際会議」は、「懇親会・レセプション」(100.0%)が最も多く、「講演・発表」(75.0%)及び「展示」(75.0%)がそれに次ぐ。「ビジネス系」は、「講演・発表」(88.9%)が最も多く、「懇親会・レセプション」(77.8%)がそれに次ぐ。「スポーツ系」は、「メイン会場（メイン会場で開催される試合)」(100.0%)が最も多く、「会議」(83.3%)がそれに次ぐ。

項目	単位	講演・発表	展示	役員会	会議	分科会	懇親会・レセプション	メイン会場
全体 (N=19)	件	11	6	7	12	4	15	6
	%	57.9	31.6	36.8	63.2	21.1	78.9	31.6
国際会議 (N=4)	件	3	3	2	2	1	4	0
	%	75.0	75.0	50.0	50.0	25.0	100.0	0.0
ビジネス系 (N=9)	件	8	3	5	5	3	7	0
	%	88.9	33.3	55.6	55.6	33.3	77.8	0.0
スポーツ系 (N=6)	件	0	0	0	5	0	4	6
	%	0.0	0.0	0.0	83.3	0.0	66.7	100.0

（８）コンベンション内容別 参加予定人数（単数回答）

○コンベンションの参加予定人数については、「役員会」と「会議」は「30～50 人未満」が最も多く、「分科会」は「50～100 人未満」が最も多い。それ以外のものについては、「100～300 人未満」が最も多い。

コンベンション内容	単位	30～50人未満	50～100人未満	100～300人未満	300～500人未満	500～1,000人未満	1,000人以上
全体 (N=60)	件	14	9	20	13	1	3
	%	23.3	15.0	33.3	21.7	1.7	5.0
講演・発表 (N=11)	件	0	0	5	4	1	1
	%	0.0	0.0	45.5	36.4	9.1	9.1
展示 (N=6)	件	0	0	4	2	0	0
	%	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
役員会 (N=6)	件	4	2	0	0	0	0
	%	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
会議 (N=12)	件	6	3	1	2	0	0
	%	50.0	25.0	8.3	16.7	0.0	0.0
分科会 (N=4)	件	1	2	1	0	0	0
	%	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
懇親会・レセプション (N=15)	件	3	2	6	3	0	1
	%	20.0	13.3	40.0	20.0	0.0	6.7
メイン会場 (N=6)	件	0	0	3	2	0	1
	%	0.0	0.0	50.0	33.3	0.0	16.7

※最大値に網掛け

（９）コンベンション内容別 ユニークベニュー活用意向（単数回答）

○コンベンションの内容別のユニークベニューの活用意向については、「積極的に活用したい」と「どちらかというと活用したい」の比率の合計は「懇親会・レセプション」（78.6%）が最も高く、「会議」（50.0%）と「分科会」（50.0%）がそれに次いでいる。

コンベンション内容	単位	積極的に活用したい	どちらかというと活用したい	あまり活用したくない	活用したくない
全体 (N=60)	件	10	20	21	9
	%	16.7	33.3	35.0	15.0
講演・発表 (N=11)	件	1	3	6	1
	%	9.1	27.3	54.5	9.1
展示 (N=6)	件	1	2	2	1
	%	16.7	33.3	33.3	16.7
役員会 (N=7)	件	0	2	4	1
	%	0.0	28.6	57.1	14.3
会議 (N=12)	件	2	4	4	2
	%	16.7	33.3	33.3	16.7
分科会 (N=4)	件	1	1	2	0
	%	25.0	25.0	50.0	0.0
懇親会・レセプション (N=14)	件	4	7	2	1
	%	28.6	50.0	14.3	7.1
メイン会場 (N=6)	件	1	1	1	3
	%	16.7	16.7	16.7	50.0

※最大値に網掛け

（10）コンベンション内容別 望ましいユニークベニュー（複数回答）

○コンベンションの内容別の望ましいユニークベニューについては、「歴史的建造物」(62.1%)の比率が最も高く、「美術博物館」(20.7%)がそれに次いでいる。

コンベンション内容	単位	歴史的建造物	温泉地	船舶(クルーザー等)	美術博物館	自然豊かな場所	商業施設	景色の美しい場所
全体 (N=29)	件	18	3	1	6	3	1	4
	%	62.1	10.3	3.4	20.7	10.3	3.4	13.8
講演・発表 (N=7)	件	5	0	0	2	1	0	0
	%	71.4	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0
展示 (N=3)	件	2	0	0	0	0	1	0
	%	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
役員会 (N=3)	件	2	0	0	1	1	0	0
	%	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
会議 (N=7)	件	3	1	0	2	1	0	1
	%	42.9	14.3	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3
分科会 (N=1)	件	1	0	0	1	0	0	0
	%	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
懇親会・レセプション (N=8)	件	5	2	1	0	0	0	3
	%	62.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	37.5
メイン会場 (N=0)	件	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※最大値に網掛け

＜電話ヒアリングによる補足＞

・建物内での滞在が多くなるため、自然豊かな場所でランチミーティングができると良い。（国際会議／会議）

・姫路城のような歴史的建造物が良い。（国際会議／懇親会・レセプション）

・廃校となった小学校など歴史的建造物が良い。（国際会議／講演・発表）

・レセプションはホテルで行うことが多い。船上で夜景を見ながらというのがそれほど珍しいとは思わない。全国どこでもやっているイメージである。（国際会議／懇親会・レセプション）

・スライドを映写するので天井が高い場所でなくてはならない。（国際会議／講演・発表）

・ホテルや料亭の利用が多いが、二条城のような歴史的建造物を使ってみたい。（国際会議／懇親会・レセプション）

・参加される先生方の中には、芸術に興味を持っている方もいらっしゃると思うので、歴史的建造物や美術館博物館なども良いと思う。（国際会議／講演・発表、役員会、会議、分科会）

・宿泊も兼ねて温泉地を活用するのは良い。（国際会議／懇親会・レセプション）

・いつもメイン会場の近くのホテルで開催しているが、歴史的建造物も良いと思う。（ビジネス／講演・発表、展示、懇親会・レセプション）

・具体的には挙げられないが、自然豊かな場所が良い。（ビジネス／講演・発表）

（11）コンベンション内容別 活用したことのあるユニークベニュー（複数回答）

○活用したことのあるユニークベニューについては、「歴史的建造物」と「景色の美しい場所」の回答があった。

○ヒアリングで具体的な施設名を確認したところ、松江城、明治記念館、国際文化会館との回答が得られたが、松江城以外は、本来コンベンション会場としての機能を有しており、本当の意味でのユニークベニューは松江城のみと言える。

コンベンション内容	単位	歴史的建造物	景色の美しい場所
合計 (N=9)	件	9	3
	%	100.0	33.3
講演・発表 (N=2)	件	2	1
	%	100.0	50.0
展示 (N=2)	件	2	1
	%	100.0	50.0
役員会 (N=1)	件	1	0
	%	100.0	0.0
会議 (N=1)	件	1	0
	%	100.0	0.0
分科会 (N=0)	件	0	0
	%	0.0	0.0
懇親会・レセプション (N=3)	件	3	1
	%	100.0	33.3
メイン会場 (N=0)	件	0	0
	%	0.0	0.0

※最大値に網掛け

＜電話ヒアリングによる補足＞

・明治記念館を利用した。（国際会議／講演発表、展示、懇親会・レセプション）

※明治記念館は式典・会合・会食に使用されている施設であるが、使用明治 14 年に赤坂仮御所の別館としてスタートしており、主催者はユニークベニューとして認識している。

・東京の国際文化会館を利用した。（ビジネス／講演・発表、展示、役員会、会議、懇親会・レセプション）

※国際文化会館は宿泊・会議・会食に使用されている施設であるが、歴史が古く景観も優れており、ユニークベニューとして認識している。

・過去に参加したスポーツ大会で、メイン会場はキリンビバレッジ周南総合スポーツセンターで、会議、懇親会、宿泊が湯野温泉だったことがあるが、料理もおいしく、温泉もあったので好評だった。（主催者としての活用実績ではなく、参加者の立場での意見）

＜活用して良かったと思うユニークベニューの事例＞

○松江城（島根県松江市）

利用者：国際会議

活　用：松江城の庭園でレセプション、その後、松江城の見学会を実施。

良い点：特に海外からの参加者に日本文化（お点前体験）や地方都市のＰＲができる点が良い。

[松江城 活用事例]

「観光＆MICE Web」 掲載記事より（URL:http://micetourism.jp/?p=304）

2013 年８月 31 日～９月４日にかけて、国際会議としてはじめて国指定文化財である松江城の米蔵跡でのレセプションを開催。参加規模は約 150 人。各種カクテルや赤ワインを提供し、参加者同士の交流も盛り上がりました。レセプションは国際会議初日にその日のセッション終了後、参加者をバスで松江城の周りの堀を遊覧する堀川遊覧船の船着き場までお連れし、参加者は松江の武家屋敷の見学、堀川遊覧乗船、そしてその後松江城への登城を体験。その後、レセプションを実施しました。また、会議では、初日にウェルカムカクテルを準備し、バーテンダーによる各種カクテルを提供しました。

AAI 2013 ウェルカムカクテル

AAI 2013 レセプション

（12）コンベンション内容別 望ましい利用料（単数回答）

○望ましい利用料については、人数規模で大きく左右するが、10 万円未満が全体の８割以上を占める。

※「コンベンションの内容別参加予定人数」を参考のため再掲する。

コンベンション内容	単位	3万円以内	3～5万円未満	5～10万円未満	10～20万円未満	20～50万円未満	50万円以上
合計 (N=45)	件	13	10	14	1	7	0
	%	28.9	22.2	31.1	2.2	15.6	0.0
講演・発表 (N=7)	件	1	0	2	1	3	0
	%	14.3	0.0	28.6	14.3	42.9	0.0
展示 (N=4)	件	0	0	3	0	1	0
	%	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0
役員会 (N=4)	件	1	1	2	0	0	0
	%	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0
会議 (N=11)	件	6	2	2	0	1	0
	%	54.5	18.2	18.2	0.0	9.1	0.0
分科会 (N=2)	件	0	2	0	0	0	0
	%	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
懇親会・レセプション (N=11)	件	3	2	4	0	2	0
	%	27.3	18.2	36.4	0.0	18.2	0.0
メイン会場 (N=6)	件	2	3	1	0	0	0
	%	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0

※最大値に網掛け

＜コンベンションの内容別参加予定人数＞　※再掲

コンベンション内容	単位	30～50人未満	50～100人未満	100～300人未満	300～500人未満	500～1,000人未満	1,000人以上
全体 (N=60)	件	14	9	20	13	1	3
	%	23.3	15.0	33.3	21.7	1.7	5.0
講演・発表 (N=11)	件	0	0	5	4	1	1
	%	0.0	0.0	45.5	36.4	9.1	9.1
展示 (N=6)	件	0	0	4	2	0	0
	%	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
役員会 (N=6)	件	4	2	0	0	0	0
	%	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
会議 (N=12)	件	6	3	1	2	0	0
	%	50.0	25.0	8.3	16.7	0.0	0.0
分科会 (N=4)	件	1	2	1	0	0	0
	%	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
懇親会・レセプション (N=15)	件	3	2	6	3	0	1
	%	20.0	13.3	40.0	20.0	0.0	6.7
メイン会場 (N=6)	件	0	0	3	2	0	1
	%	0.0	0.0	50.0	33.3	0.0	16.7

Ⅲ．先進的な取組事例の収集

１．調査概要

（１）調査対象

ユニークベニューの活用推進に取り組み、実績をあげている 16 団体及び当該団体がユニークベニューとして情報発信している 109 施設。

＜団体の内訳＞

コンベンションの分類	調査対象団体数
公益社団法人	3
公益財団法人	8
一般社団法人	1
一般財団法人	3
自治体（県）	1
計	16

（２）調査方法

インターネット調査で事例を収集した結果､公益財団法人等の自治体の外郭団体が当該自治体の複数のユニークベニューの活用を推進しているケースが多かった。そこで、インターネットでこうした団体の取組に係る基本情報を収集した上で、それらの団体に調査協力を依頼し、ユニークベニューの活用に係る意識、取組、さらには個々のユニークベニューの状況について情報収集を行った。

○インターネットによる情報収集
○依頼状・調査票をＦＡＸにて送信
○調査票の回答内容に基づく電話ヒアリング調査の実施

（３）調査内容

○内容、利用実態
○課題、効果
○周南市への活用可能性
○その他

（４）調査期間

平成 27 年８月

（５）集計・分析・とりまとめ

・調査内容ごとの集計分析
・個別の案件に係るとりまとめ（非公開）

２．調査結果のまとめ

（１）ユニークベニューの内容・利用実態について

ユニークベニューの主なものとして、「歴史的建造物」、「クルーズ」、「神社仏閣」、「温泉」、「美術館・博物館」、「商業施設」、「水族館」、「庭園・公園」が挙げられる。

これらに景観の良さや自然の豊かさなどが加わると、ユニークベニューとしての価値はさらに高まる。このうち「商業施設」については、一般的な商業施設ではなく、青森県の「A-FACTORY」などの観光客や地域外の利用者を意識したものが中心となる。

施設自体にそれほど特徴がなくても、特別な景観（素晴らしい風景など）を見ながら会食ができる場合などもユニークベニューとしての位置付けが可能である。

他には、「船（クルーザー、ヨット、帆船、屋形船）」、「電車」、「モノレール」などの乗物、商店街や飲食街、遊園地、スタジアム（本来の用途ではない利用）なども利用事例がある。

ユニークベニューの最大収容人数は 100 人以上 300 人未満が過半数を占め、100 人未満は１割に満たない。

ユニークベニューの利用で最も多いのは「懇親会」(76.1%)で、全体の７割台を占める。次に多いのが「会議」(28.4%)や「講演会」(25.7%)でそれぞれ２割台を占める。

（２）ユニークベニューの効果について

ユニークベニューの活用を含むコンベンション誘致実績のある団体の殆どが、ユニークベニューの効果として、「利用者満足の向上」と「他地域との差別化」を挙げている。特に外国人や遠方からの参加者が見込まれるコンベンションの場合、日本らしさ、地域らしさを体感できるユニークベニューは、コンベンション誘致の切り札となり得る。

先進事例においては、会場としてのユニークベニューを提案するだけでなく、ユニークベニューに特色のある飲食（歴史ある寺院での精進料理など）、特別な体験（酒蔵で地酒の試飲、歴史的建造物での地域芸能披露など）、エンターテイメント（屋形船で鵜飼など）などを組み合わせ、参加者満足に結び付ける取組が行われている。

（３）ユニークベニューの課題について

ユニークベニューに係る最も大きな課題は、「ユニークベニュー保有者の理解・協力」であることが、本調査で明らかになった。

ユニークベニューが特別なものであればあるほど、利用許可が下りにくく、活用できる時間や用途も限られてくる。例えば、美術館、博物館、水族館などは閉館後でなければ使用許可が下りないケースが殆どである。

ユニークベニューの用途として最も多いのが「懇親会」であるが、火気厳禁、飲食不可といった施設も少なくない。また、「営業補償」を求められる場合もある。

「ユニークベニュー保有者の理解・協力」に次いで、課題として多く挙がっているのは「新たなユニークベニューの発掘・開拓」である。

本来の用途以外での活用となるため、電源やトイレなどの設備面が不十分であったり、料金設定が難しかったりといった問題も発生する。屋外でのガーデンパーティーなどは、雨天の場合の対策も考えておかなくてはならない。コンベンション会場として必要な状況を満たし、保有者の理解や協力が得られる施設となると、発掘・開拓は容易ではない。

（４）周南市への活用可能性

本調査で収集した事例を整理・分析すると、以下の条件を満たすもの（全てを満たす必要はない）が、ユニークベニューとしての活用可能性が高いと思われる。

ユニークベニューの効果が「利用者満足の向上」と「他地域との差別化」であることを考えれば、既存の事例を参考にしながらも、既存の事例にとらわれることなく、より多くの条件を満たすものを検討することが求められる。

＜ユニークベニューの条件＞

当てはまるものが多ければ、それだけユニークベニューとして有望

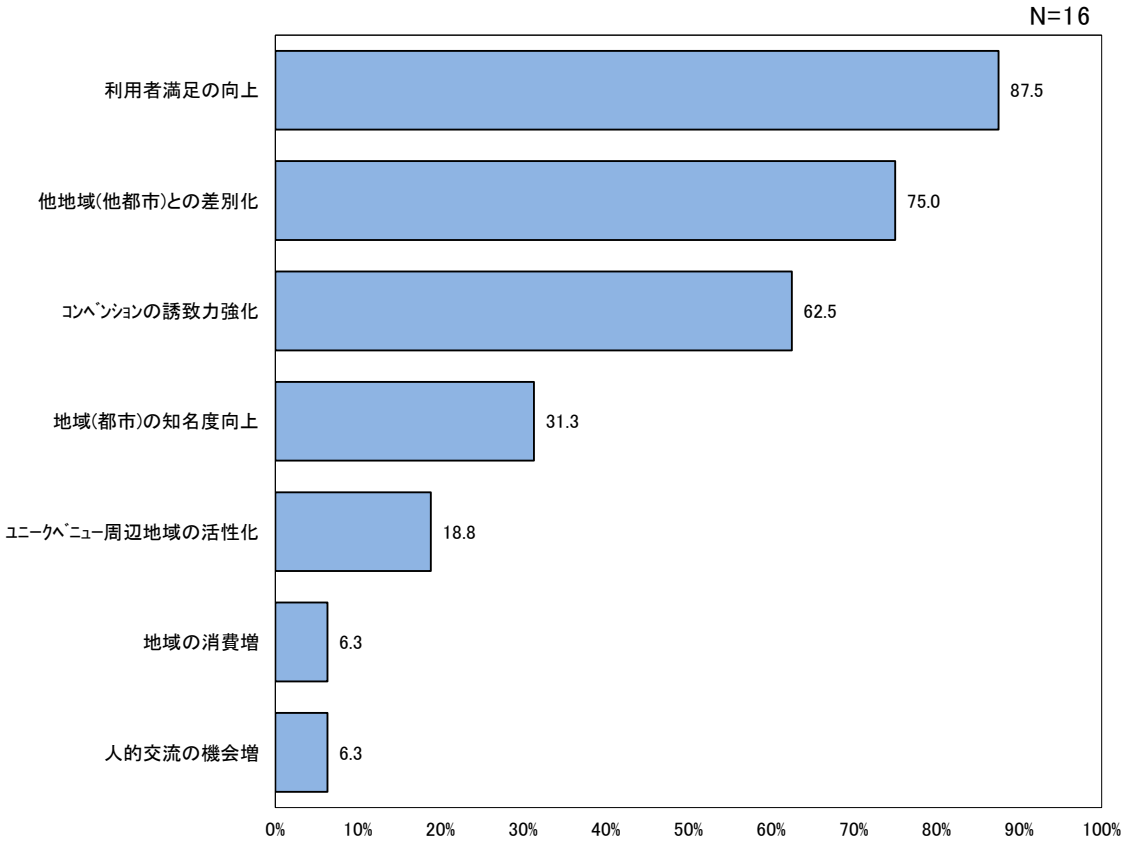
・他地域から来た人（外国人含む）に興味、関心を持ってもらえる何らかの要素がある。
・他地域に類似の施設がない（他地域では類似の体験ができない）。
・メイン会場からアクセス可能な場所にある。
（移動が難しい場合は何らかの手段を講じる）
・コンベンションの開催に必要な最低限の設備（トイレ・電源）がある。
・施設保有者の理解が得られる。
・屋外の場合は雨天の場合の対策を講じることができる。
・安価に使用できる。
・飲食ができる。
・最大収容人数 100 人以上である。

３．調査結果

［ユニークベニューの活用推進団体の意識・取組について］

（１）ユニークベニュー活用の効果（３つまでの複数回答）

○ユニークベニュー活用の効果については、「利用者満足の向上」（87.5%）が最も多く９割弱を占め、次いで、「他地域（他都市）との差別化」（75.0%）、「コンベンションの誘致力強化」（62.5%）の回答が多い。



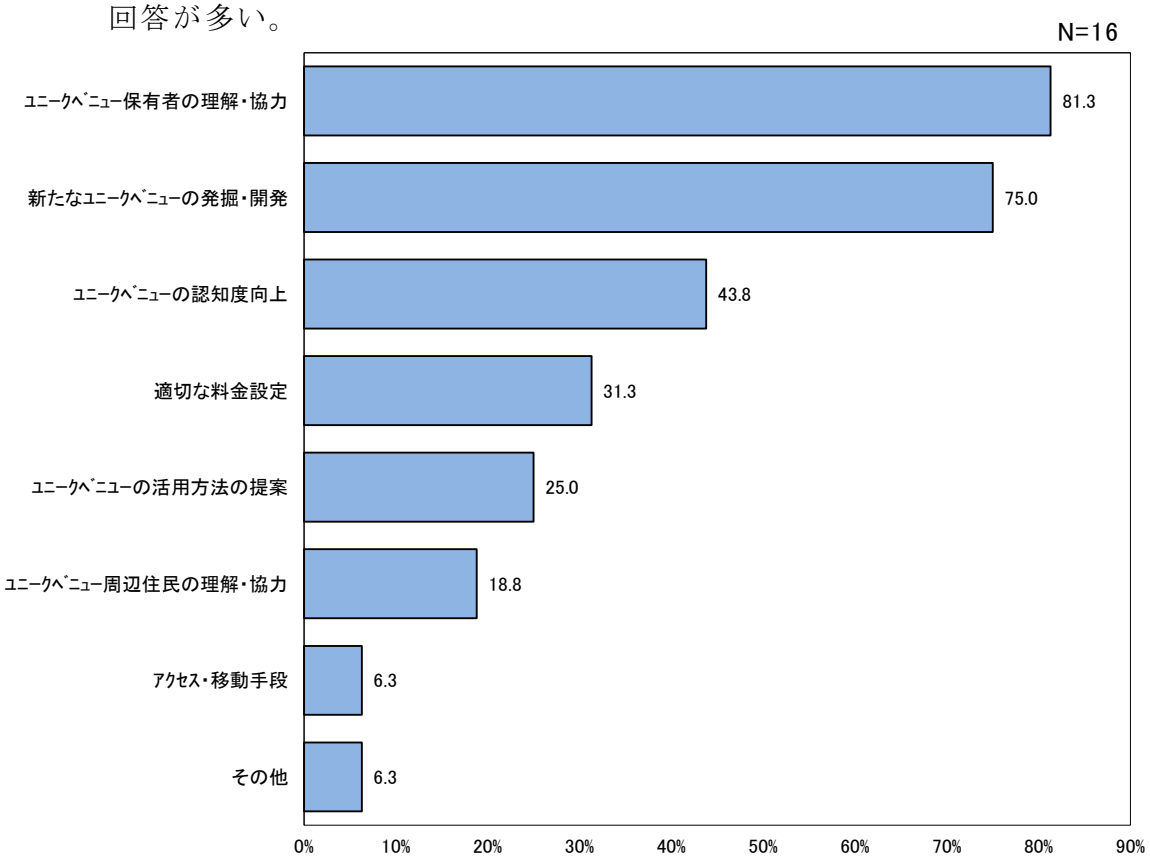
＜電話ヒアリングより＞

・国際会議を誘致する上で、ユニークベニューが目玉になると考えている。

・ユニークベニューをコンベンション誘致のための１つのツールとして積極的に紹介している。

（２）ユニークベニューの活用を促進する上での課題（３つまでの複数回答）

○ユニークベニューの活用を促進する上での課題については、「ユニークベニュー保有者の理解・協力」（81.3%）が最も多く８割強を占め、次いで、「新たなユニークベニューの発掘・開発」（75.0%）、「ユニークベニューの認知度向上」（43.8%）の回答が多い。



＜電話ヒアリングより＞

○利用許可が下りにくい・利用上の制約がある

・文化財などは利用が難しく、利用許可が下りても施設整備を必要とすることがあり、経費が余計にかかることがある。

・施設保有者の許可を得ても、電源やトイレがないなどの問題が発生し、それをどうにかしようとすると経費が余計にかかるため、主催者に提案できない。

・世界遺産でもある施設をユニークベニューとして活用したいという動きはあるが、様々な制限を受け利用が難しい。

・行政が管理している施設の中には営業補償が必要となる施設もあるため、利用者に金額を提示しづらい。

・特に行政が管理している施設の場合、使用許可が下りるまでに時間がかかる。

・行政が管理している施設は、主の目的が最優先となるので許可が下りづらい。

・施設保有者が行政である場合は使用許可が下りづらい。民間施設の方が利用しやすい。（２件）

・美術館や神社などは展示品があるため、火気厳禁などの制約を設けている施設が

多い。民間が管理している施設は利用しやすいが、公共が管理している施設は利用しにくい。
・施設の一画を利用する場合、音の問題など、他の利用者への配慮が必要である。
・国際会議向けのユニークベニューとして、地域企業が保有する工場の見学ができないかとお願いしたが、機密情報であるため公開できないと断られた。
・ユニークベニューの活用はイレギュラーな利用となるため、施設保有者との間で調整が必要となる。
・主催者の要望と施設保有者の許可の調整が難しい。人数、料金、時間、火気厳禁、アルコール有無など施設ごとに制約があり、制約を緩和させるか、主催者に妥協して頂くかの選択になる。
・施設保有者にユニークベニューという発想が浸透していない。

〇料金設定できていない・料金設定が難しい

・ホームページで情報公開している施設は料金設定ができているが、公開していない施設は料金設定ができていない。
・コンベンションのための施設ではないため、その都度、保有者と交渉している。利用人数や料理の有無によって利用料金が変わる。

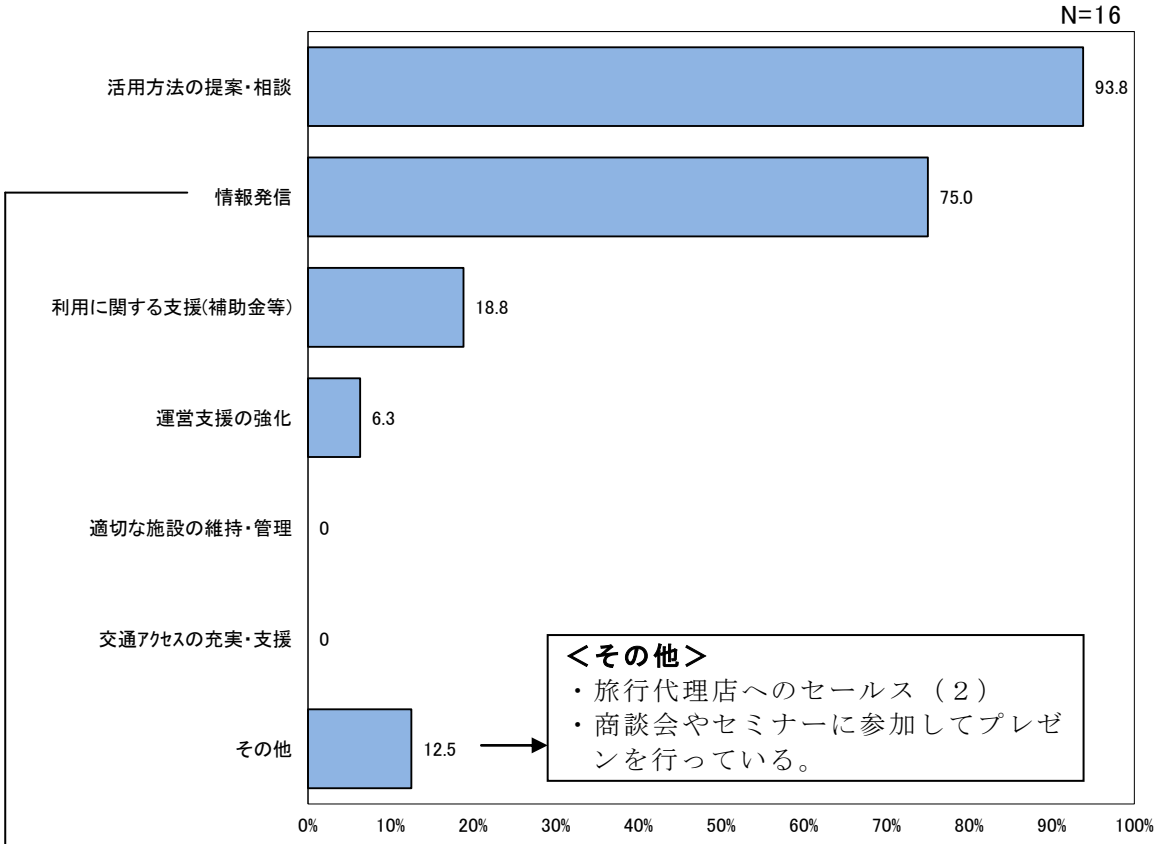
〇その他

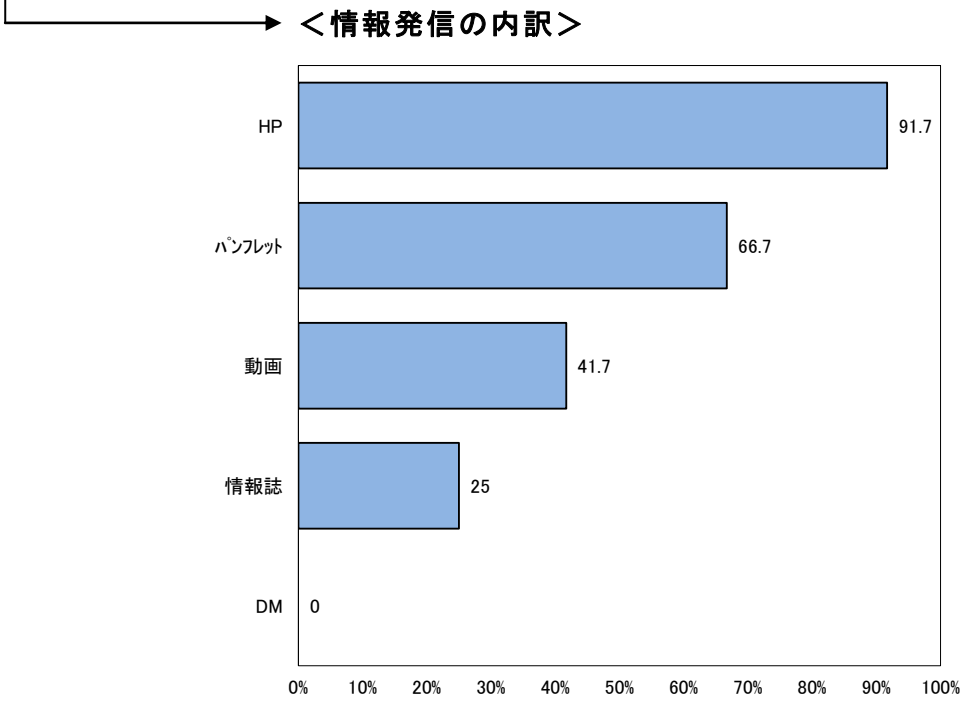
・まだ営業活動ができていない。話があったら対応している状況である。
・なかなか利用実績ができない。
・施設保有者から、メインの利用が第一なので、ユニークベニューの積極的な情報公開を控えてほしいと言われている。
・主催団体が、コンベンションビューローを通さず、施設保有者に直接交渉しているケースがあるが、そうした情報が把握できていない。
・昔から神聖な場所とされている場所の利活用に対し、地域にお住まいの方々は抵抗感がある。
・クルーザーを貸し切るにしても、参加者の人数に適したクルーザーがなかったりする。
・現在、アクセスに関する支援は行っていないが、メイン会場からユニークベニューまで電車やバス１本で行けないことが多く、最寄りのバス停・電停からも歩かなければならない。
・レセプション（ガーデンパーティー）をユニークベニューで開催する場合、食事はホテルのケータリングを頼んでいるのだが、雨天の場合に備え、ホテルで代替会場を用意してもらっている。
・大学など持ち回り制によるコンベンションの開催の場合、主催者がコンベション主催の経験を持っておらず、ユニークベニューのこともご存じない。

（３）ユニークベニューの活用を促進するために実施していること（複数回答）

○ユニークベニューの活用を促進するために実施していることについては、「活用方法の提案・相談」（93.8％）が最も多く９割を超え、「情報発信」（75.0％）がそれに次いでいる。

○「情報発信」については、「ＨＰ」（91.7％）が最も多く、「パンフレット」（66.7％）がそれに次いでいる。





＜電話ヒアリングより＞

○コーディネート・相談対応

・主催者と施設を繋ぐ役割を担っている。コンベンションビューローとユニークベニューの保有・管理者の間には、信頼関係やネットワークができており、主催者が直接施設と交渉するより、ビューローが間に入って調整（日程、金額など）する方が進みやすい。
・ホテル以外でその地域ならではのものが楽しめるレセプション会場がないかと相談を受け、提案をした。
・ユニークベニューの活用を希望する団体に対して提案している。
・コンベンション主催団体より相談があった際に、提案を行っている。
・主催者からメイン会場について相談があった際に、レセプション会場等の提案でユニークベニューを紹介している。相談をしてくる主催者の種類は様々である。
・ホテルをレセプション会場として使用することが当たり前というイメージであるため、学会に対して酒蔵でのレセプションを提案すると好評である。
・主催者より、レセプション会場として面白い施設がないかという相談はあるが、講演や会議でユニークベニューを利用したいという相談はほとんどない。世界遺産などをテーマとするコンベンションであれば、歴史的建造物で会議を開催したいというニーズはあると思う。

○情報発信

・パンフレットに会議施設やホテルなどと一緒にユニークベニューの情報を掲載している。
・ホームページにユニークベニューの利用に関する情報（利用料金、収容人数など）を掲載しているため、それを見た問合せがある。こちらから提案することもある。
・県内のユニークベニューに関する調査を実施し、リストを作成している。これらの施設情報を公開する予定がある。

○積極的な提案

・旅行会社、企業に対して情報提供を行っている。
・企画書を作成し、主催者に提案を行っている。
・会議を誘致するために積極的にユニークベニューの提案を行っている。
・当地域でコンベンションを開催する可能性がある団体に対して、ユニークベニューの活用を提案している。
・市内で会議を行い宿泊もする団体に対し、鵜飼のアトラクション支援を行っている。

○補助金

・利用人数、外国人参加者の有無によって補助金を支出している（コンベンション全般の支援でありユニークベニューに限定されるものではない)。
・コンベンション誘致に関する補助金がある（ユニークベニュー限定ではない)。

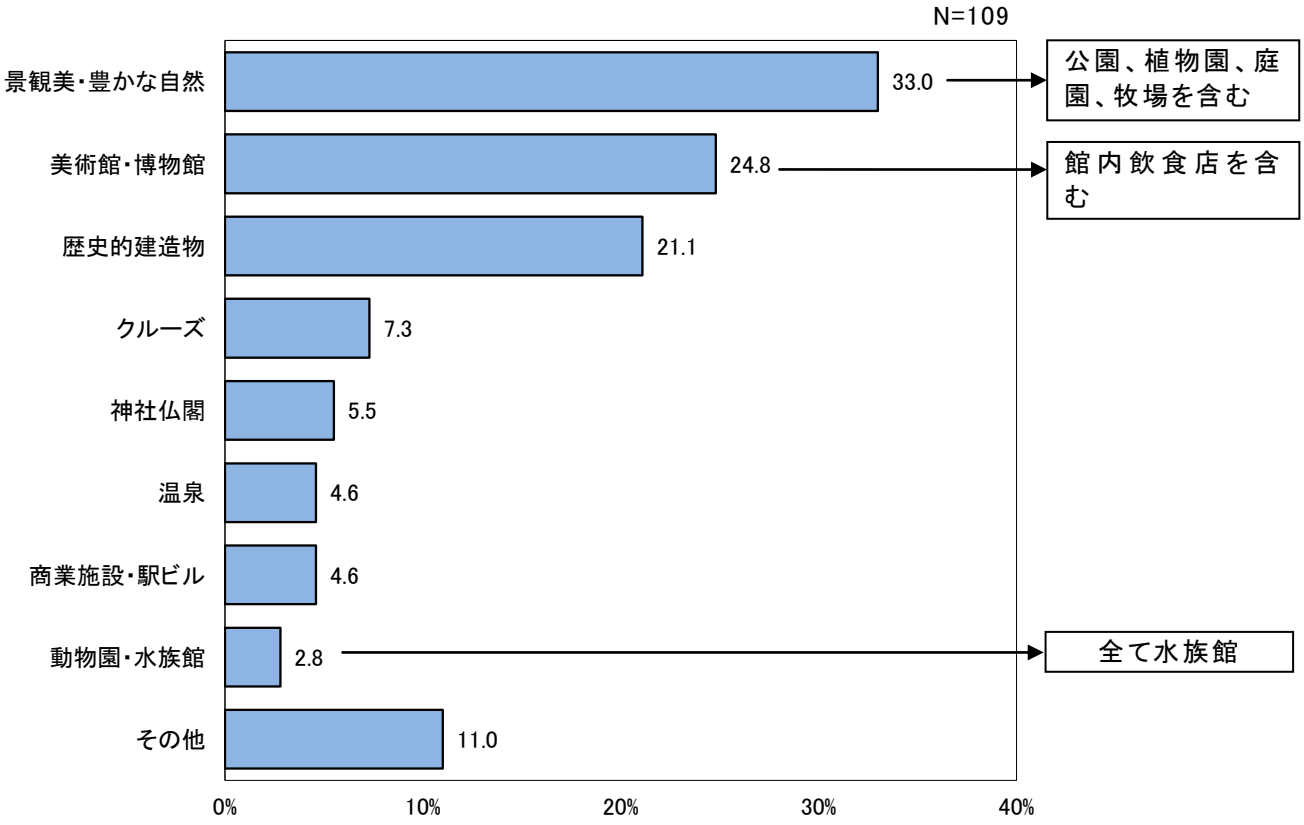
○運営支援の強化

・今後パンフレットを作成する予定である。

［ユニークベニュー109 施設の利用実態について］

（１）ユニークベニューの種類（複数回答）

○調査対象となった 16 団体がユニークベニューとして情報発信している 109 施設の種類については、「景観美・豊かな自然」（33.0％）が最も多く、次いで、「美術館・博物館」（24.8％）、「歴史的建造物」（21.1％）の回答が多い。

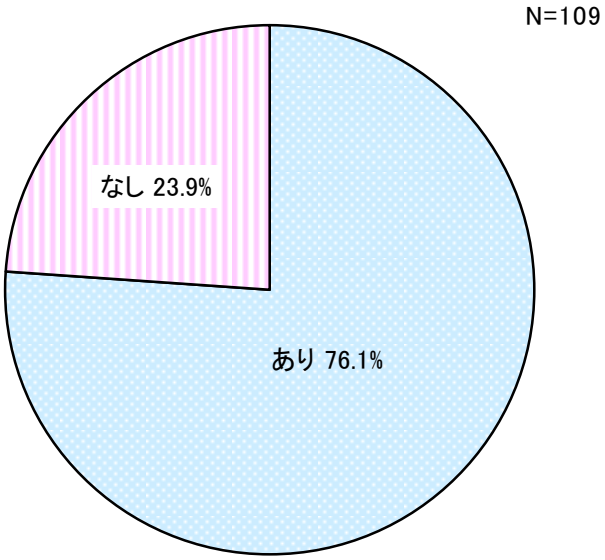


＜その他＞

・観光物産館　※施設内に会議室あり
・商店街（２）
・飲食街
・滑走路
・天文台
・能楽堂　※施設内に会議室あり
・モノレール
・電車
・スタジアム　※会食に使用
・遊園地

（２）利用実績（単数回答）

○ユニークベニューとして情報発信されている施設のうち、実際に利用実績があるのは７割台であった。



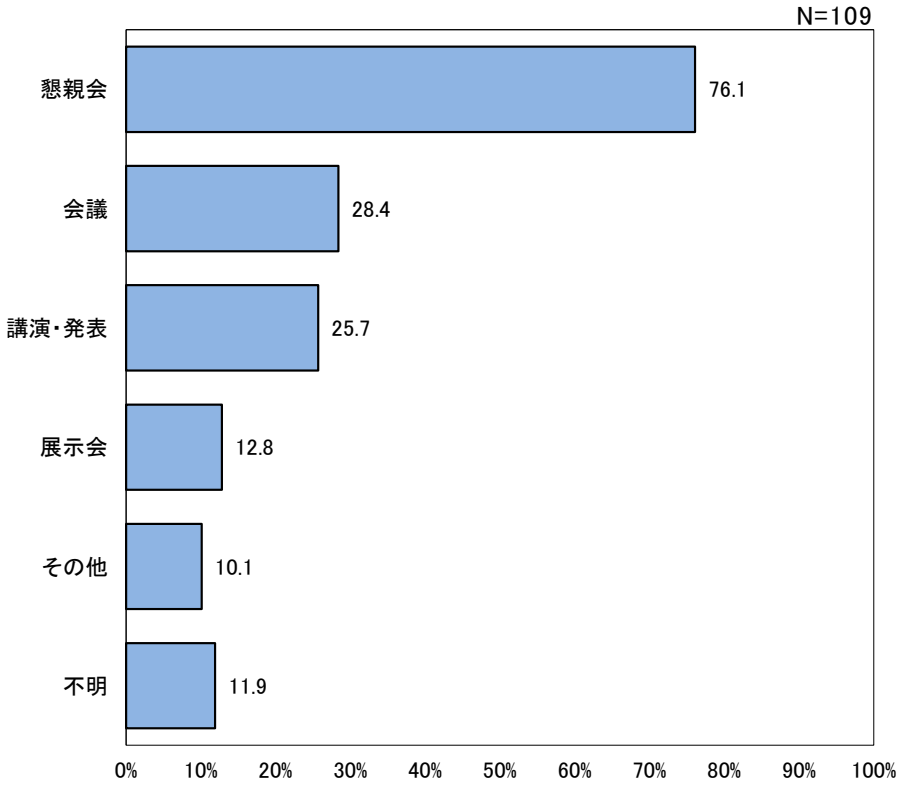
＜ユニークベニューの種類別＞

○利用実績「あり」が多い項目が、必ずしもユニークベニューに適しているとは言い切れないが、「水族館」と「クルーズ」は利用実績「あり」が 100％である。

項目	単位	あり	なし
全体(N=109)	件	83	26
	%	76.1	23.9
歴史的建造物(N=18)	件	13	5
	%	72.2	27.8
景観美・豊かな自然(N=25)	件	19	6
	%	80.6	19.4
神社仏閣(N=6)	件	4	2
	%	66.7	33.3
美術館・博物館(N=27)	件	22	5
	%	81.5	18.5
動物園・水族館(N=3)	件	3	0
	%	100.0	0.0
温泉(N=5)	件	4	1
	%	80.0	20.0
ｸﾙｰｽﾞ(N=8)	件	8	0
	%	100.0	0.0
商業施設・駅ビル(N=5)	件	4	1
	%	80.0	20.0
その他(N=12)	件	6	6
	%	50.0	50.0

（３）ユニークベニューの用途（複数回答）

○ユニークベニューの用途については、「懇親会」(76.1%)が最も多く７割台を占め、次いで、「会議」(28.4%)、「講演・発表」(25.7%)の回答が多い。



＜ユニークベニューの種類別＞

○すべての種類で「懇親会」が最も多い。特に「クルーズ」「商業施設・駅ビル」「水族館」の利用実績は「懇親会」のみとなっている。

項目	単位	会議	懇親会	展示会	講演・発表	その他
全体(N=96)	件	31	83	14	28	11
	%	32.3	86.5	14.6	29.2	11.5
歴史的建造物(N=19)	件	6	18	5	4	0
	%	31.6	94.7	26.3	21.1	0.0
景観美・豊かな自然(N=31)	件	10	27	6	12	7
	%	32.3	87.1	19.4	38.7	22.6
神社仏閣(N=5)	件	3	4	0	1	1
	%	60.0	80.0	0.0	20.0	20.0
美術館・博物館(N=24)	件	9	20	3	8	4
	%	37.5	83.3	12.5	33.3	16.7
動物園・水族館(N=3)	件	0	3	0	0	0
	%	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
温泉(N=5)	件	5	5	0	3	0
	%	100.0	100.0	0.0	60.0	0.0
ｸﾙｰｽﾞ(N=8)	件	0	8	0	0	1
	%	0.0	100.0	0.0	0.0	12.5
商業施設・駅ビル(N=4)	件	0	4	0	0	0
	%	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
その他(N=10)	件	2	7	1	1	1
	%	20.0	70.0	10.0	10.0	10.0

＜電話ヒアリングより＞

○歴史的建造物・神社仏閣

・建物内での飲食はできないが、中庭でレセプションを開催した。（旧県庁舎、旧県会議事堂）
・会議、会食、学生のサマースクールなどで利用。宿坊であり精進料理に近いものを提供した。（神社仏閣）
・展示会に使用。飲食はできない。（旧銀行）

○温泉

・学会の会議室やレセプション会場として利用した。（温泉）
・100～200 人規模の国際学会の受け入れ実績がある。（温泉）

○商業施設・物産館・商店街

・会議室があり、会議終了後に夜景を見ながらのレセプションを開催した。（観光物産館）
・施設を貸切にして（営業補償を出す）会食に使用した。マグロの解体ショーなどのアトラクションを提供した。（JR が運営する商業施設 ※観光施設）
・商店街組合が積極的にコンベンションを誘致している。（商店街）

○乗物

・２両貸切にして街コン（会食）を開催した。（モノレール）
・病院関係の団体、学会での利用が多い。（電車）
・100～200 人規模の国際学会での利用が多い。料金設定が高いため、予算面に余裕のある団体でなければ利用できない。（帆船）
・学会終了後のレセプションで利用されている。（クルーザー）
・県内外の企業が利用。半分貸切にも対応できる。（クルーザー）

○水族館

・閉館後（夏場は不可）に企業が貸切利用して会食などに使用している。（水族館）
・閉館後、レセプションなどに利用されている。（水族館）
・17 時の閉館後に会食で貸切で利用した。水槽をバックに写真が撮れると好評である。（水族館）

○美術館・博物館

・美術館関係の国際学会の会議場、講演会場として使用した。（美術館・博物館）
・飲食は禁止である。講演会の会場などで使用した。（美術館・博物館）
・屋外展示場でのガーデンパーティーなど国際学会での利用が多い。（美術館・博物館）
・小規模（100 名程度）の講演会、発表の会場に使用した。（美術館・博物館）
・会議室で会議や講演会を開催し、その後、庭でレセプションを行うパターンが多い。（美術館・博物館）

○その他

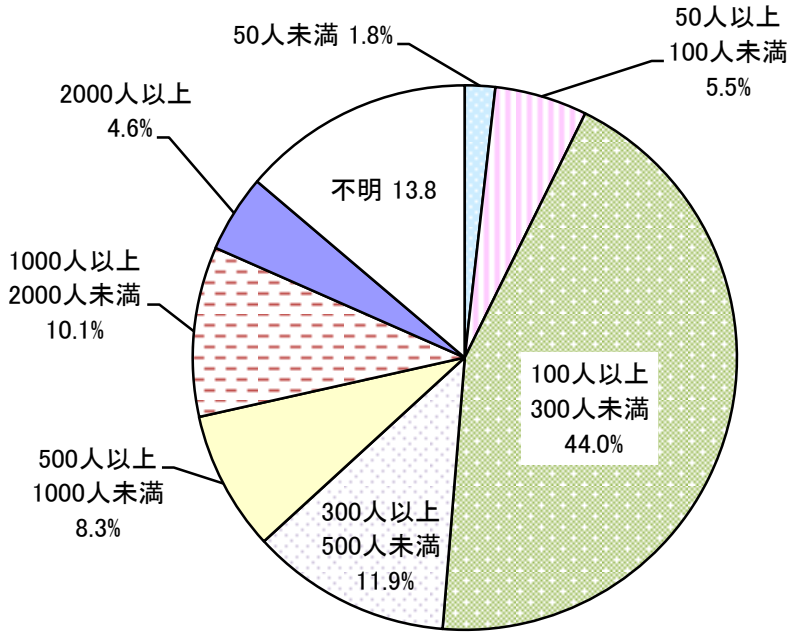
・学会のみ利用可能としている。庭園でのガーデンパーティー等の開催実績がある。国際学会後のレセプションでの利用が多い。（能楽堂）
・会議、会食、展示会、講演・発表会などの利用実績がある。（芝居小屋）
・学会のレセプションで利用されることが多い。（酒蔵）
・学会後のアフターコンベンション、会食で活用されている。（鵜飼・屋形船）

・海を眺めながらのレセプションが可能である。（ヨットハーバー）
・イベント広場、多目的ホールでの会議や展示会の開催実績がある。（遊園地）

（４）ユニークベニューの収容人数（単数回答）

○ユニークベニューの最大収容人員については、「100 人以上 300 人未満」(44.0%)が最も多く４割台を占め、「300 人以上 500 人未満」(11.9%)がそれに次いでいる。

N=109



＜ユニークベニューの用途別＞

○ユニークベニューの用途別では、全ての用途で「100 人以上 300 人未満」が最も多い。特に「展示会」は「100 人以上 300 人未満」(84.6%)が８割台を占める。

項目	単位	50人未満	50人以上 100人未満	100人以上 300人未満	300人以上 500人未満	500人以上 1000人未満	1000人以上 2000人未満	2000人以上
全体(N=94)	件	2	6	48	13	9	11	5
	%	2.1	6.4	51.1	13.8	9.6	11.7	5.3
会議(N=29)	件	0	3	16	5	4	1	0
	%	0.0	10.3	55.2	17.2	13.8	3.4	0.0
懇親会(N=76)	件	2	4	42	12	6	6	4
	%	2.6	5.3	55.3	15.8	7.9	7.9	5.3
展示会(N=13)	件	0	0	11	0	1	1	0
	%	0.0	0.0	84.6	0.0	7.7	7.7	0.0
講演・発表(N=26)	件	0	2	14	5	5	0	0
	%	0.0	7.7	53.8	19.2	19.2	0.0	0.0
その他(N=9)	件	0	1	6	1	0	1	0
	%	0.0	11.1	66.7	11.1	0.0	11.1	0.0

参考資料　ユニークベニュー例

分類	名称	種類	収容人数	備考（利用実績）	地域
歴史的建造物	青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸	船（歴史的建造物）	100	青函航路の青森発最終便となった青函連絡船八甲田丸をそのまま利用した日本初の鉄道連絡線ミュージアム。会食・講演・発表等の利用実績あり。	青森県
歴史的建造物	山形県旧県庁舎	旧県庁舎	100	大正５年に竣工した煉瓦造りに県産材の花崗岩を貼ったルネッサンス様式の建造物。現在は山形県の郷土資料館として開放。会議、会食の利用実績あり。	山形県
歴史的建造物	旧伊達邸　鐘景閣	歴史的建造物	100	100年以上の歴史を誇るかつての伊達家の邸宅。伝統の「筆筒料理」と隣接する茂庭荘の天然温泉入浴が売り。	宮城県
歴史的建造物	仙台東照宮　参集殿	神社	100	国指定重要文化財。会食利用実績あり。	宮城県
歴史的建造物	宮城県知事公館	歴史的建造物	60	洋風棟と和風棟が連なる大正中期の建築物。会食など。	宮城県
歴史的建造物	夢風ひろば	観光物産施設	15	会食での利用実績あり。	奈良県
歴史的建造物	東大寺総合文化センター	神社仏閣	300	図書館、ミュージアム、収蔵庫、寺史研究所、華厳学研究所、ホール、ショップ、カフェを備えた複合施設。会議・講演・発表等開催実績あり。	奈良県
歴史的建造物	灘菊酒造株式会社酒蔵の膳処「西蔵」	酒蔵	160	明治43年創業当時の木造の酒蔵。「食事」や「催事」ができる。	兵庫県
歴史的建造物	グラバー園	歴史的建造物	1800	アフターコンベンション、会食の利用実績あり。冬期は音楽と合わせてのイルミネーションなどで付加価値を高めている。	長崎県

分類	名称	種類	収容人数	備考（利用実績）	地域
歴史的建造物	識名園	庭園	不明	世界遺産に登録されている琉球王家一家の保養と外国使臣の接待などに利用された王家最大の別邸。講演、発表、茶会等の実績あり。	沖縄県
神社仏閣	書写山円教寺	寺院	80	西の比叡山と称される天台宗の古寺。映画「ラストサムライ」のロケ地でもある。坐禅・写経体験ができる。会議、会食の利用実績あり。	兵庫県
美術館・博物館	青森県立美術館	美術館・博物館	100	会議、講演・発表、「PSi （国際パフォーマンス学会）2015 FLUID STATES 東北大会 けがれを超えて：パフォーマンスと東北）身体・霊性・巡礼）」会場。	青森県
美術館・博物館	仙台市博物館	博物館	不明	レストラン内でのカクテルの提供は不可、エントランスホールの使用は応相談。会食などの利用実績あり。	宮城県
美術館・博物館	平山郁夫ｼﾙｸﾛｰﾄﾞ美術館	美術館	600	美術品にかこまれた展示室での、講演会や会議、セミナー等が可能。イベント後、２Fラウンジ、屋外らくだ公園にて飲食が可能。	山梨県
美術館・博物館	長良川うかいミュージアム	博物館・観光施設	150	岐阜市の伝統文化である「長良川の鵜飼」に関する情報発信を行っている。会議・会食・講演・発表。	岐阜県
美術館・博物館	長崎歴史文化博物館	博物館	100	復元された長崎奉行所立山役所を背景に懇親会を開催することができる。会食・展示会・講演・発表等。	長崎県
美術館・博物館	沖縄県立博物館・美術館	美術館・博物館	300	会食・講演・発表等。	沖縄県
博物館・水族館	東海大学　海洋科学博物館	博物館・水族館	100	水族館部門、科学博物館部門、機械水族館部門に分かれている。水族館部門の大水槽前で懇親会を開催。	兵庫県

分類	名称	種類	収容人数	備考（利用実績）	地域
温泉	浅虫温泉	温泉	200	会議、会食。浅虫温泉は「東北の熱海」「青森の奥座敷」と称される青森のいで湯。	青森県
温泉	酸ヶ湯温泉	温泉	100	主浴場は「千人風呂」と呼ばれる混浴のお風呂。会議、会食、今年の３月には大学体育指導者全国研修会の会場となった。	青森県
温泉	かみのやま温泉月岡ホテル	地方の温泉ホテル	800	国際会議、会食の開催実績あり。	山形県
温泉	天童温泉	温泉旅館	800	会議・会食・講演・発表。天童市には、世界的に有名な酒蔵や木工家具のメーカーなどもあり、人気の将棋駒の絵付け体験などエクスカーションも多岐にわたり楽める。	山形県
観光施設	ねぶたの家　ワ・ラッセ	文化観光交流施設	150	会議・会食・ねぶた見学。	青森県
観光施設	青森県観光物産館　アスパム	観光物産館	100	会議、会食。青森の情報基地。青森市街や陸奥湾、八甲田山の山々などが眺められる会議室は、少人数から最大150名収容まで多数あり。	青森県
観光施設	Ａ―ＦＡＣＴＯＲＹ	複合施設	150	会食。青森の産物・地域文化を発信する「工房」および「市場」の複合施設。	青森県
観光施設	山寺風雅の国	観光施設	50	会議・会食・講演・発表。山寺の全景を一望できる高台に建つ山形県のお土産や味覚などが揃う観光施設。	山形県
商業施設	清水すし横丁	商業施設	20	商業施設「エスパルスドリームプラザ」内飲食フロア。寿司店が集積。	静岡県

分類	名称	種類	収容人数	備考（利用実績）	地域
商業施設	長崎出島ワーフ	複合商業施設	2000	長崎港のベイエリアにある複合商業施設。潮風を受けながら港町長崎を満喫できる。この中にある全飲食店の協力で「第108回日本外科学会定期学術集会」の全員懇親会が貸切で開催された。	長崎県
商業施設	出島内外倶楽部	歴史的建造物	100	明治36年（1903年）にF.リンガー氏によって建てられた英国式明治洋風建築。１階レストランで会食の利用実績あり。	長崎県
自然・景観	好古園	庭園	100	発掘調査で確認された武家屋敷跡などの遺構を活かして造営された日本庭園。会食・講演・発表など。	兵庫県
自然・景観	ガンガラーの谷	鍾乳洞	150	数十万年前の鍾乳洞が崩壊してできた谷間。天然の鍾乳洞でパーティや音楽会を開催。	沖縄県
自然・景観	東南植物楽園	植物園	1500	懇親会等。	沖縄県
クルーズ	ぎふ長良川鵜飼（屋形船）	屋形船	1200	アフターコンベンション、会食の利用実績あり。	岐阜県
クルーズ	帆船「オーシャンプリンセス」	帆船	80	学会の懇親会など開催実績あり。	兵庫県
交通機関	沖縄都市モノレール株式会社（ゆいレール）	公共交通機関	65	街コン会場として活用された。	沖縄県

Ⅳ．市内資源の洗い出し及び活用可能性の検証

１．概要

周南市がメンバーを選定するワーキンググループ（関係団体や事業者等 10 人）を設置運営し、会議を通じて、「主催者のニーズ分析調査」及び「先進的な取組事例の収集」の結果を踏まえつつ、市内に有する地域資源を幅広く洗い出し、ユニークベニューとしての活用可能性を検証する。

２．ワーキンググループ

第１回ワーキンググループ

開催日時　平成 27 年９月 30 日（水）
10:30～12:00
会場　周南市役所港町庁舎会議室
議事　１．事業の説明
２．これまでの調査結果
３．意見交換
４．まとめ

第２回ワーキンググループ

開催日時　平成 27 年 11 月 12 日（水）
10:30～12:00
会場　周南市役所港町庁舎会議室
議事　１．市内資源の洗い出し
２．意見交換
３．まとめ

第３回ワーキンググループ

開催日時　平成 27 年 12 月 17 日（木）
9:00～10:30
会場　周南市役所港町庁舎会議室
議事　１．周南市 ユニークベニュー案について
２．周南市版 ユニークベニュー候補一覧について
３．意見交換
４．まとめ

＜名簿＞

周南市　ユニークベニュー調査業務委託事業
ワーキンググループ　名簿

委員（五十音順・敬称略）

石丸 洋久	公益社団法人周南青年会議所
尾上 昇	徳山商工会議所
加藤 隆之	ＮＰＯ法人ライトアップ周南
河村 啓太郎	株式会社まちあい徳山
笹木 大	新南陽商工会議所
竹永 富夫	Tengoo
徳永 豊	三丘温泉さくらまつり実行委員会
仲西 隆宏	徳山旅館組合
吉高 詩織	一般財団法人周南観光コンベンション協会
渡辺 明彦	冬花火実行委員会

周南市

中村 悟	地域振興部　観光交流課長
橋本 俊彦	地域振興部　観光交流課長補佐
綿野 博之	地域振興部　観光交流課　コンベンション・国際交流推進担当係長
徳原 常臣	地域振興部　観光交流課　コンベンション・国際交流推進担当主査
内山 紀美子	地域振興部　観光交流課　コンベンション・国際交流推進担当主任

事務局

金高 幸枝	㈱成研　主席研究員
櫃本 尚岐	㈱成研　研究員

３．議事録

（１）第１回ワーキンググループ

１．日　時

平成 27 年９月 30 日（水）10:30～12:00

２．場　所

周南市役所徳山港町庁舎会議室

３．次　第

（１）事業の説明
（２）これまでの調査結果
（３）意見交換
（４）まとめ

［意見交換　主な意見］

事業の説明とこれまでの調査結果をもとに、感想や意見を交換した。

●主催者のニーズ分析調査中のアンケート結果で、ユニークベニューの活用に対する関心が「おおいにある」と回答した主催者が 17.4%、あとは「多少ある（43.5%）」と「どちらともいえない（26.1%）」となっていた。そもそもコンベンションが開催されると、来なければいけない人は必ず来るので、行くかどうか悩んでいる人達が一歩足を踏み出すかどうかだと思う。それがあるなら行ってみようと、思えるようなインパクトのあるユニークベニューが必要である。

●最初は、実現可能かどうかは別として、場所をどんどんリストアップし、そこから絞っていくという方向になるかと思う。アンケートにもあったように施設管理者の理解を得ることが難しいと思うので、そこをどうほぐして利用に繋げていくかが課題となる。

●大きいものでなくても、参加した人に楽しんでもらえれば、主催者にはここを開催地として選んで良かったと思って頂ける。そういった感じでユニークベニューを考えていければと思う。

●周南市にあるテレビ局の最上階は展望室になっており、周南市全体を見渡すことのできる眺めの良い場所である。

●会議ならば屋根はどうしても必要だと思う。屋根の「あり」「なし」を分けて考えても良いと思う。

●コンベンションのニーズはあると思うのだが、問題はコンベンションに来られる方が宿泊する部屋の数が足りないことである。コンベンション等が開催されれば、おそらく宿泊施設は満室状態になる。宿泊のお客様がとれないとコンベンションの取組も全体として完結しないと思う。

●医療関係の学会に関しては、学会やコンベンションを開催する立場の人が周南市にもいらっしゃると思うので、そういった立場の人、例えば病院長の意見をこの委員会で聞けば、「これがあるから学

会の会場にここを選ぶ」といった意見が出ると思う。こちらからＰＲするだけでなく、開催する立場にある方の意見を聞けば、もっと変わった視点で考えられると思う。

●場所という考え方もあるが、無形のもの、例えば「ひと」や「神楽」なども含めてユニークベニューを考えてもよいと思う。懇親会の会場としての利用なら「神楽」など周南市の無形伝統芸能的なものを中心街でお披露目することも効果が期待できる。

●周南市の八代には、本州では唯一八代にしか来ない「ナベヅル」が来る。北海道にはタンチョウもいるが、周南市の売りとして渡ってくる鶴がいることをもっとＰＲすべきだと思う。

●中央図書館は、山口県立図書館と同じく、「鬼頭梓（きとうあずさ)」という著名な建築家が設計している。施設に入るとエントランスホールが吹き抜けで、コンサートができるのではと思い、これまでに計 15 回くらいコンサートを開催した。いろいろ楽器を試したが、非常に音質が良い。収容人数は 80 名くらいが限度だが、ここをイベント会場として活用して頂くことも可能である。
会議やスポーツ系のコンベンションでも単一の場所だけで終わるのではなく、図書館は周南市内の中心部にあるので、夜７時から図書館を活用することもできる。そういう形で何かとコラボしていくことが良いと思う。

●周南市には「動物園」がある。シーンとした場所よりは「動物園」で、動物の鳴き声、におい等を感じながらユニークベニューを楽しむのも良いと思う。

●新幹線が停まることは大きな強みだと思う。県内では、新岩国、徳山、新山口、厚狭、新下関の５カ所に新幹線が停まるが、徳山の場合は街中に停まる。
観光案内所で「こんなにすぐ近くに港があるんだね」とよく言われる。高速船に 20 分くらい乗れば「大津島」などの瀬戸内の海に囲まれた島の雰囲気を感じることができる。市街地から車で１時間もかけずに山の田舎の風景も楽しめる等、周南市は色々な風景があるということも強みだと思う。

●「漢陽寺」は、周南市内で考えてユニークベニューにすごく適したお寺だと思う。資源として、「重森三玲（しげもりみれい)」という有名な作庭家が造った庭が６庭ある。同じ作庭家が造った庭のある、岸和田城（大阪）や東福寺（京都）などは国の名勝となっている。大人数の受け入れにも慣れているお寺で、国際交流で外国の方が大勢来られたり、先日開催された「世界スカウトジャンボリー」の地域プログラムでも受け入れをされている。会議に関しても、これまで本堂や２部屋ある大広場で会議を行ったりしているので、「漢陽寺」は会場としては申し分がないと思う。ただ移動手段がネックになってくると思う。

●「津田恒実メモリアルスタジアム」には、地域には珍しい大きなオーロラビジョンがある。ユニークベニューの観点から考えると、野球だけに使うのではなく、音楽ライブや大きな見本市等で利用する可能性もあると思う。

（2）第２回ワーキンググループ

１．日　時

平成 27 年 11 月 12 日（木）10:30～12:00

２．場　所

周南市役所徳山港町庁舎会議室

３．次　第

（1）市内資源の洗い出し
（2）意見交換
（3）まとめ

［意見交換　主な意見］

周南市内の資源で、ユニークベニューとして活用の可能性がありそうな場所やソフトについて意見を出し合った。

工場夜景

●晴海親水公園

工場夜景を観るのであれば親水公園がよい。

●工場内

工場の中、外から観るのではなく内側から観る。以前は全く違う会社の工場同士が提携して、工場内を走るマラソン大会を開催していた。今は同じことをするのは難しいと思うが、各工場が連携をしてそういった取組をやっていた時代もあった。外から観る工場夜景もよいが、内側から観る工場夜景もよい。

大津島（回天関係施設）

●大津島の茶室

納屋をリノベーションした茶室「石柱庵」。「ガマの群生地と石柱庵」がグッドデザイン賞を受賞している。

温泉

●湯野温泉

年に１回「ゆの浴衣まつり」が開催され、来場者を１千本の竹灯篭でもてなす。浴衣を着た人が川沿いを散策するためとても雰囲気がよく、来場者は多い。

●夜市川河川公園、山田家本屋

湯野温泉エリアの周辺。「山田家本屋」は、茅葺屋根の古い建築。以前「ゆの浴衣まつり」の際には庭でジャズのライブを行い、夜はライトアップした。夏なら出演者も浴衣を着て演奏するとよい雰囲気だと思う。

漢陽寺

●漢陽寺

「漢陽寺」には昭和の雪舟と呼ばれた「重森三玲（しげもりみれい)」という有名な作庭家が造った６つの庭あり、遠方からも観光客が来る。景観的にも素晴らしく、コンベンションで使えるような広い部屋もある。漢陽寺から繋がる「清流通り」も含めて景観が素晴らしい。清流通りは、漢陽寺からの 300ｍくらいの通りで、その間に水車小屋や日本庭園、「二所山田神社」「龍雲寺」などがある。

動物園

●徳山動物園

体験型のアトラクションも行っており、展示の仕方がユニーク。現在はリニューアル工事中。

文化施設

●周南市美術博物館

美術館で何かできたらと思う。

●周南市立図書館

定期的にロビーでコンサートなどを行っている。

景観

●太華山　山頂

夜も昼も眺めもよいロケーションのスポット。市街地からは少し離れており、山を登って行かなくてはならない。

●望海台

周南市全域が見渡せる場所。市街地からは近いが、道が狭いという難点がある。

永源山

●永源山公園

「神武天皇」と関わりのある場所で、地元ではパワースポットと言われている。周辺には神武天皇の腰掛岩、古墳群もあり土器が見つかったりもする。

永源山公園にある風車の周囲に、イベントができる大きな広場もある。

民間施設

●宿泊施設

大津島には１日１組限定の宿泊施設があり、大人気で予約が取れない状況。ここからの景観は素晴らしい。

●テレビ局

テレビ局の展望室から周南市全域を見渡すことができる。ただし、エレベーターは展望室の１つ下の階までしか動かないので、そこからは階段で登ることとなる。

●大型空き店舗

とても広く、ダンスホール、卓球大会などにも活用できると思う。駐車場もたくさんある。

●海辺のレストラン

結婚式場とレストランが併設している施設。レストランの外はクルーズ船を乗り付けることもできるため、工場夜景のクルーズを楽しんだ後に食事をできる。

●民間所有の倉庫

倉庫内の一部に音楽が楽しめるような空間に作っている。倉庫なのでロケーションは良くないが使えると思う。

●ライブハウス

ユニークベニューとしても活用もできると思うが､そこで 300～400 人規模のカラオケ大会を開催すると盛り上がると思う。来場者 300 人で 1 人 2,000 円くらい取れば会場を借りられると思う。カラオケの順番は永遠に回って来ないかもしれないという問題はある。カラオケ喫茶でカラオケの発表会があると、事前に衣装を送って来る人もいるくらいなので盛り上がると思う。

歴史的建造物

●市役所総合支所の議場

周南市の合併に伴い利用されなくなった。

●酒蔵

周南市にも酒蔵が幾つかある。面積的な事を考えると活用が可能かどうか分からないが、施設としては面白いと思う。

●旧徳山商業高校　※山口県の行政財産

グランド、教室、体育館などが残っており、色々なイベントが開催できる。屋根があるため雨天の際も対応できる。

宿泊施設としても活用可能ではないか。学生のスポーツ団体は、ホテルに泊まらなくても寝泊りさえできればよいと考えるため、そういった団体用の宿泊施設としても使えると思う。

●勝栄寺

「毛利の三本の矢の教え」発祥のお寺。

●川崎観音

別名「おっぱい観音」と言われている。おっぱいの絵馬を奉納することで有名。

●旧日下医院

現在は複合施設であり１階は店舗となっている。２階では時々イベントなどをしている。

●市長公舎

周南市では数少ない歴史的な建築物。

スポーツ・レジャー関連施設

●津田恒実メモリアルスタジアム

周南市出身の津田恒実に因んで名前を付けられた球場。ユニフォームやプレートなどの展示がある。

●ゴルフ場

周南市にはゴルフ場が多いため、それをうまく活用できないかと思う。例えばグリーンの上に机を並べてユニークベニューの場所として利用、終了後はそのままゴルフを楽しむ。

●ボートレース徳山

ギャンブルをする場ではあるが、海を向いた席がある。

自然体験施設

●長田海浜公園

以前小規模のディナーパーティーを開催されたことがある。砂浜もあり工場夜景も楽しめる。

●せせらぎ豊鹿里パーク

高速を降りてすぐの場所にある。同じエリアである「漢陽寺」や「花火大会」と一緒に売り出してもよいと思う。センターハウスでは、「そば打ち体験」などのメニューを楽しめる。オートキャンプ場、ケビン（５棟）もあり、宿泊施設としても利用できる。

その他施設

●商店街アーケード

先日も「よさこいイベント」の前夜祭会場としてアーケードを使っていた。

●道の駅　ソレーネ周南

ユニークベニューの条件をかなり満たしていると思う。川沿いで景観も良く、トイレも充実している。天気がよいと更によいと思う。

郷土料理

●料理（ふぐ、はも、たこ、自然生）

「ふぐ」「はも」「たこ」は周南の名産として知られている。「自然生」はグラタンや釜飯などの食材としても楽しめる。

体験・鑑賞

●水素

周南ではコンビナートなどの副産物として水素がでる。水素は身体によいイメージがあるので、水素を活用した水素水などを提供すると面白いと思う。

●三作神楽

「世界スカウトジャンボリー」が山口県で行われた際に披露した。

四季の提案

●芝桜

中心街から車で 15 分くらいの場所にある。

●桜並木、いちょう並木　ホコ天

通りを歩行者天国にできればよいと思う。ただ歩行者天国にしないとユニークベニューの実現は難しいと思う。

●祭り

「ユニークベニューは特別な場所」を意味しているので、「特別な日に特別な場所で」お祭りを楽しむ。例えば、「浴衣まつりの灯篭」「ツリー祭り」「花火大会」などが特等席で観られるよう、祭りの時期に合わせたコンベンションを誘致するという発想もあると思う。

●須金のフルーツランド（秋）

ぶどう狩りや梨狩りなどをして楽しめる。秋頃がおすすめの時期でとても広い農園のため、初めて観ると感動すると思う。

その他

●参加者の家族に配慮

コンベンションのためにどこかへ行くとなると家族が嫌がることもあるので、家族で一緒に来られるコンベンションをパッケージで提案できればいいのでは。例えば、会議以外の時間は別の場所で楽しめるという提案ができればよいと思う。

［市内資源の洗い出し　結果］

ユニークベニューにふさわしい場所（建物、ロケーション）

工場夜景
- 晴海親水公園 × 4
- コンビナート
- 工場夜景（海・陸） × 3
- 工場（内）
- 船上
- クルーズ夜景

大津島（回天関係施設）
- 大津島 × 3
- 大津島回天記念館
- 大津島の茶室
- 回天

温泉
- 湯野温泉郷
- 湯野温泉旅館
- 湯野温泉足湯 他
- 山田家本屋
- 温泉
- 夜市川河川公園

漢陽寺
- 漢陽寺 × 5
- 漢陽寺庭園
- 清流通り

動物園
- 徳山動物園 × 3
- 徳山動物園展示館、中央ステージ

文化施設
- 周南市立図書館
- 周南市美術博物館

景観
- 太華山 山頂
- 望海台
- ダム

商業施設
- 御幸通
- 商店街アーケード

道の駅
- 道の駅ソレーネ周南 × 2
- ソレーネ周南川沿い

民間施設
- テレビ局
- 大型空き店舗
- ライブハウス
- 海辺のレストラン
- 宿泊施設（大津島）
- 民間所有の倉庫

永源山
- 永源山
- 永源山公園

歴史的建造物
- 市長公舎 × 2
- 市役所総合支所議場
- 勝栄寺（毛利の教え発祥の寺）
- 川崎観音
- 酒蔵
- 廃校
- 徳山商業高校（廃校）
- 旧 日下医院

スポーツ・レジャー関連施設
- 津田恒実ﾒﾓﾘｱﾙｽﾀｼﾞｱﾑ（周南市野球場） × 3
- ボートレース徳山
- 市内ゴルフ場

自然体験施設
- 豊鹿里パーク体験メニュー
- 鹿野せせらぎパーク
- 長田海岸
- 観光農園
- 須金フルーツランド

ユニークベニューにふさわしいソフト（体験、おもてなし、料理、アトラクション、鑑賞）

郷土料理
- はも（料理） × 3
- ふぐ（料理） × 2
- たこ
- 自然生

体験・鑑賞
- 漢陽寺のお茶会
- 三作神楽
- ライブハウスでカラオケ
- 津田恒実ﾒﾓﾘｱﾙｽﾀｼﾞｱﾑ球場ライブ
- 長田浜公園ビーチパーティ
- 水素

四季の提案
- 芝桜
- 桜並木　ホコ天（文化会館～総合庁舎）
- 徳山夏まつりの日に開催（その他イベントの日の前後）
- 祭り
- いちょう並木　ホコ天（市役所～徳山高校）
- 須金フルーツランド（秋）
- 冬花火
- 青空公園ツリー

その他
- 参加者の家族に配慮

（3）第３回ワーキンググループ

１．日　時

平成 27 年 12 月 17 日（木）9:00～10:30

２．場　所

周南市役所徳山港町庁舎会議室

３．次　第

（1）周南市　ユニークベニュー案について
（2）周南市版　ユニークベニュー候補一覧
（3）意見交換
（4）まとめ

［意見交換　主な意見］

第１回、第２回のワーキンググループの結果を踏まえ、周南市でユニークベニュー案を作成した。
実現可能性等を踏まえ、検討した。

晴海親水公園

●徳山の工場夜景はきれいではあるが、山からの工場夜景をカメラで撮影できるスポットがない。コンベンション参加者にベストスポットを紹介できれば喜んで頂けると思う。
●「晴海親水公園」については、工場夜景を観るロケーションとしてはよいと思うが、これを現実的にユニークベニューとして活用する提案はかなり難しい気がする。工場夜景を観るのであれば暗い方がよいだろうし、賑やかな事をすればするほど明るくなってしまい工場夜景が観られなくなってしまう。
●「ここでこんな事までやっていいんだ」と思わせることが大切。例えば「晴海親水公園」で結婚式をあげてみたいという人もいるかもしれない。

永源山公園

●「永源山公園」にある風車は粉ひき風車なので中に石臼が２つある。狭いところではあるが、中の構造は木造で素晴らしいオランダの技術が残っている。人数を限定して見学するなど、もう少し突っ込んだユニークさをアピールする必要があると思う。

その他施設

●周南市の音楽イベントは、主に「周南市文化会館」で開催されている。文化会館以外でも街中で気軽に音楽が聞ける場所があると面白いと思う。例えば商店や図書館など。２月 28 日は周南市出身の詩人「まど みちお」氏の命日なので、その日は周南の街を賑わせるような音楽イベントを開催してはどうか。
●前回のワーキンググループを行った際に、「市長公舎」や「野球場」なども意見が多かった。意見の多かったものについては、協議のテーブルにはあげておいた方がよい。
●ユニークベニュー案について、特に問題はないのだが、想定していたものがあがってきているという印象。誰もが知らないような場所がないので、意表を突くような場所もあってもよかったのではと思う。

●ユニークベニューの施設は並んでいるが、その中に季節のオプションがあってよいのでは。例えば春に大道理の芝桜をライトアップして利用するなど。

ソフト

●晴海親水公園だから提供できるソフトもあれば、周南市全体で共通して提供できるソフトもある。例えば、周南市は水素の街としてアピールするのであれば、水素水はどの施設でも提供してもよい。

●究極のソフトはそこにいる地域の人だと思う。可能かどうかわからないが、例えば「ユニークベニューアンバサダー」のようなものとして地域のお年寄りの顔写真が出ているだけでも、温かい感じが出るのではないか。例えば「動物園」であれば着ぐるみや職員の顔写真、「商店街」であれば働いている人の顔写真があれば反応がよいと思う。

●第１回のワーキンググループであがった、図書館でのコンサートはとても面白いと思った。

提案メニュー

●コンベンションの分類や参加人数に応じて、提案できるメニューを幾つか用意する必要がある。ターゲットを絞ったメニュー構成が大切。例えばエコツアーなどの体験をするメニューがあってもよい。

●周南市として水素を PR していくのであれば、水素にこだわった夜景鑑賞コースを作ってみては。例えば徳山駅へ水素自動車 10 台で参加者を迎えに行く。そのまま水素自動車に乗車して頂き、水素ステーションに向かって水素の供給を体験してもらう。交通量が少なければ、参加者に水素自動車を運転して頂く。そこからレストランに行き、水素水を活用した飲食メニューを楽しむ。最後はクルーズ船に乗り換え工場夜景を楽しむ。「実は水素を作っている工場の夜景はきれいだった」という説明をする。水素にこだわったコース設定すればインパクトがある。

●周南市へ初めて訪れた人でも、この季節に何があるかなどの情報がスマートフォンを見れば分かればと思う。私が長野県の小布施町に行った際は「小布施ちずぶらり」というアプリをダウンロードした。地図上で自分がいる場所、近くに何があるか、目的地まで徒歩何分で行けるなどの情報が分かれば便利。コンベンション終了後に楽しめるエクスカーションプランを幾つか情報提供できれば面白いと思う。

●ストーリーを作ることや、提案の仕方次第でユニークさを演出すればよいと思う。

環境・整備

●アクセスの面では、事業者の協力がないと厳しいと思う。参加者が一斉にシャトルバスで動くのであれば問題ないが、必ず遅れて来る人が出てくる。徳山駅の近くなら問題はないが、大津島へのアクセスなどは厳しいと思う。

●機能性を検討するべき。例えば PA 機器が身近な場所で借りられるか、軽食がとれるか、お酒を飲むことができるかなど。そういった事も調べて整理する必要がある。

●ユニークベニューのキャパシティに関しては、受け入れ側の市民が「こんな大人数は受け入れられないよ」とならないように、あらかじめ大人数でも対応できる用意をしておく必要がある。

●独自性が大切となってくる。ユニークベニューを活用すると補助が出ると聞くと、手をあげたい主催者もいると思う。

●漠然とユニークベニューのリストあげるのではなく、飲食が可能か、いくら費用がかかるか、いくら補助が出るかなど、もう少し細かく整理する必要があると思う。

その他の意見

●観光としてツルを観に行ったとしても、100 メートル 200 メートル先にツルがいても、これでは満足しないように思う。土日になると「ツルの里案内人」が、朝一番にツルのいそうなポイントに連れて行ってくれたり、ツルの生態の説明をしてくれたりする。そこまでしてやっとツルを観に行ったかいがあったと思って頂ける。中身をどう見せていくかを考えていく必要がある。

●カフェを開いて地元の人とユニークベニューを育てていくことを提案する。例えば「大津島」でカフェを開く。大津島の人にカフェへ集まって頂き、その場でユニークベニューの提案をする。そこで課題を抽出する。カフェはあくまでも意見交換の場で、ユニークベニューがある現地で地元の人と話し合う機会を作り、長いスタンスでユニークベニューを育てて行くことをしてもよいと思う。

●スマートフォンは大事な情報発信ツール。今「ユニークベニュー」と検索してもユニークベニューなら「〇〇市」という自治体の名前は出てこない。リスティング広告などの対策をすれば効果はあると思う。ただ、その前にまとまった情報がないと意味がない。体系化することが大事で、例えばオプションなら幾ら費用がかかるかなどの金額を提示する必要がある。検索する立場からするとある程度見てわからなければ選ばない。

Ⅴ．ユニークベニュー活用プランの作成

１．基本的な考え方

ユニークベニューとは、「歴史的建造物、文化施設や公的空間等で、会議やレセプション等を開催することで特別感や地域特性を演出できる会場」のことを指す。

このため、ユニークベニューの活用では、ハード（施設・場所）に視点が偏りがちであるが、特別感や地域特性を演出できるものとして、ハードとともに提供できるソフトも重要なポイントとなる。

また、ハード面の充実には限界があるが、ソフトについては、更なる洗い出し、磨き上げなど、新たに創り上げることが可能である。

このことから、ソフトや他の魅力的な資源をユニークベニューに組み合わせることが重要である。

２．周南市 ユニークベニュー

＜周南市ユニークベニュー一覧＞

ユニークベニュー	概要
晴海親水公園	日本夜景遺産認定。水面に映る幻想的な光の揺らめきと工場夜景の大パノラマを楽しむことができる。
漢陽寺	600 年の歴史を持つ県下屈指の名刹。平安時代の庭園様式による「曲水の庭」をはじめとする様々な日本庭園を鑑賞できる。
大津島（回天関連施設、石切場跡）	人間魚雷「回天」の訓練基地跡などが現存。 回天記念館には遺品遺墨約 1,000 点が展示されている。
温泉施設及びその周辺	三丘温泉の近くには本州唯一のナベヅル越冬地がある。 湯野温泉は「徳山の奥屋敷」として知られている。 石船温泉は鹿野の豊かな自然の中に立地している。
中心商店街（アーケード）	徳山駅を中心に広がる商店街。徳山夏まつりをはじめとする様々なイベントの会場として定着している。
永源山公園	噴水や人工滝を配した美しい公園。山頂には日本最大級のオランダ風車「ゆめ風車」が設置されている。
徳山動物園	JR 徳山駅から比較的近い場所に立地するまちなか動物園。園一帯は徳山藩主毛利氏の屋敷があった場所で、毛利氏ゆかりの史跡も見学できる。
ボートレース徳山	一般非公開の貴賓室を利用することができる。
クルーズ船	瀬戸内海の多島美を楽しみながらのデイクルーズ、工場夜景を眺めながらのナイトクルーズ等を楽しむことができる。
自然（桜並木、芝桜、万葉の森）	市の中心部から中山間地区にかけて、豊かな自然が広がる。 桜並木や芝桜など、季節ならではの景色を楽しむことが出来る。

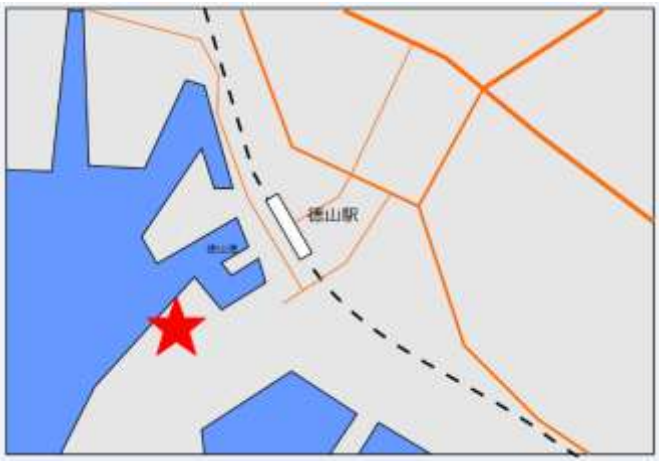
このほか、活用可能な資源として、太華山山頂、美術博物館、道の駅などが挙げられる。

(1) 晴海親水公園

周南市の工場夜景は日本七大工場夜景の一つに数えられる。また、晴海親水公園から眺める工場夜景は日本夜景遺産に認定されており、海抜０メートル近い視点から工場夜景を鑑賞できる。

公園内には芝生が敷き詰められており、気候や天気が良ければ、レセプション会場としての利用が考えられる。周南市が誇る景観スポットのため、コンベンション会場間の立ち寄りスポットとしても活用する。

［活用プラン］
晴海親水公園の海側にステージを設置し、美しい工場夜景を背景にした伝統芸能や音楽（和太鼓、ジャズ等）を楽しみながらレセプションを行う。工場夜景を眺めるだけではなく、写真撮影なども楽しんでいただき、思い出に残るものにしていただく。



工場夜景

＜このユニークベニューで提供できるソフト＞

・工場夜景を背景に記念撮影
　※最高の写真が撮れる場所でプロカメラマンが撮影
・工場夜景写真の撮影講習会
・工場夜景を見ながらのアトラクション（音楽、伝統芸能等）の鑑賞
・周南市オリジナルドリンクの提供

＜このユニークベニューと相性の良いプラン＞

・クルージング（会食とセットで）
・工場見学（工場見学の後、晴海親水公園へ）
・「周南冬のツリーまつり」（期間限定：11 月中旬～１月中旬）※日本夜景遺産認定
・晴海埠頭を活用したイベント（海の日記念行事、大型帆船寄港イベント等）

(2) 漢陽寺

県内有数の古刹であり、寺裏山の潮音洞（平成の名水百選　認定）より流れ出る遣り水を活かして築庭された「曲水の庭」に代表される様々なタイプの庭園で知られている。レセプション、セミナー、会議での活用を想定。

［活用プラン］
様々な様式の日本庭園を楽しんでいただき、コンベンションの合間には座禅体験や抹茶の接待でくつろいでいただく。漢陽寺周辺は自然が美しく、散策に最適。環境省の「平成の名水百選」に選ばれた潮音洞及び清流通りや二所山田神社等を案内する。

漢陽寺の庭園

自然･文化･史跡が楽しめる清流通り

＜このユニークベニューで提供できるソフト＞

・庭園散策
・抹茶接待
・座禅体験
・清流通り散策（ガイド付き）
・農家レストランの食事

＜このユニークベニューと相性の良いプラン＞

・「せせらぎ・豊鹿里パーク」での各種体験（ケビンに宿泊もできる）
　※鹿野産のわさびを使った「わさび漬づくり」などの体験メニューあり。
・「鹿野高齢者生産活動センター」での和紙づくり体験
・二所山田神社・天神祭り
・女子道社（おみくじ）の見学
・長野山等での山野草の観賞
・石船温泉
・鹿野市等の地域イベント
・民泊

(3) 大津島（回天関連施設、石切場跡）

太平洋戦争末期に開発された特攻兵器・人間魚雷「回天」の訓練基地があった大津島には、回天訓練基地跡などの関連施設が現存している（訓練基地跡、トンネル等。旧馬島小学校の跡地には回天記念館がある。）。島全体では、豊かな自然を楽しめるほか、特産の御影石を切り出した石切場跡や、グッドデザイン賞を受賞した茶室などがある。

［活用プラン］
会議、分科会、役員会等の会場として回天を運んだトンネルや、レセプションの会場として石切場跡が活用できる。周辺には回天記念館や関係の史跡、ガマの群生地と石柱庵（茶室）など、見どころが多数あるため、コンベンション前後の散策にも最適。島の歴史や自然を感じながら特別なコンベンションを体験をすることができる。

回天訓練基地跡

回天を運んだトンネル

石切場跡

＜このユニークベニューで提供できるソフト＞

・回天記念館の見学（館長の説明）
・回天ゆかりの地巡り（ガイド付き）
・回天太鼓等の鑑賞
・茶室「石柱庵」（「ガマの群生地と石柱庵」がグッドデザイン賞 2015 を受賞）でのお茶の接待

＜このユニークベニューと相性の良いプラン＞

・クルージング
・大津島ふれあいセンターや大津島海の郷での自然体験

(4) 温泉施設及びその周辺

市内には複数の温泉地が存在している。

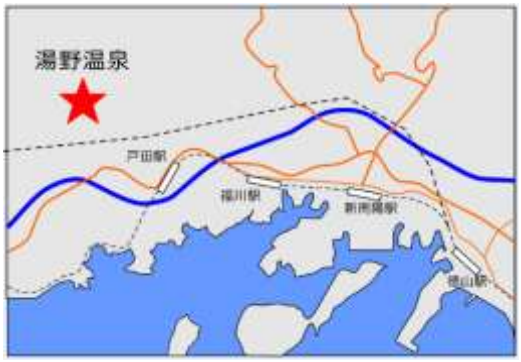
湯野温泉は山紫水明な環境に旅館が複数あり、「徳山の奥屋敷」の異名を持つ。温泉郷の中心を流れる夜市川は夏になるとホタルが飛び交う。また、夏目漱石「坊っちゃん」のモデルと言われている地元出身の弘中又一にちなんだ公園や、県指定文化財の山田家本屋などがある。

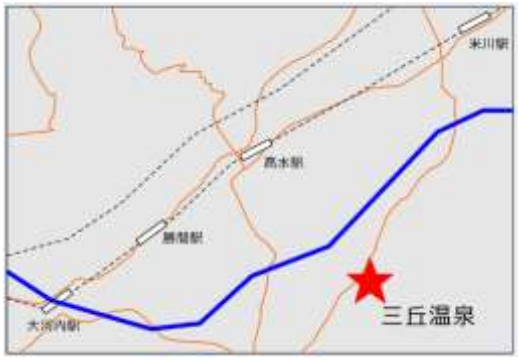
三丘温泉は、環境省から国民保健温泉地の指定を受けている。温泉郷を流れる東繕寺川は公園として整備されており、散策が楽しめる。春には桜の名所として有名。

石船温泉は大自然に囲まれた鹿野に立地しており、ゆったりと源泉かけ流しの温泉を楽しむことが出来る。

レセプション、会議、分科会、役員会の会場としての温泉施設の活用を想定。

［活用プラン］
温泉地域の産品（自然生、わさび等）を使ったおもてなし料理での会食と合わせ、春の桜、夏のホタルと温泉郷の四季の美しさや名所を楽しんでいただく。
①湯野温泉（山田家本屋、足湯、サン・サンロード等）
②三丘温泉（東繕寺川河川公園、黒岩峡、桜の名所、ナベヅル等）
③石船温泉（清流通り、漢陽寺、二所山田神社等）





山田家本屋（湯野の領主竪田就政の家臣となった山田氏の住宅）

東繕寺川河川公園

石船温泉

＜このユニークベニューで提供できるソフト＞

・湯巡り、足湯
・浴衣の着付け（外国からのお客様等）
・温泉地域の産品（自然生、わさび等）を使った料理で会食
・遊歩道散策（サン・サンロード、東繕寺川河川公園等）
・周辺の名所散策
・各地域の祭り

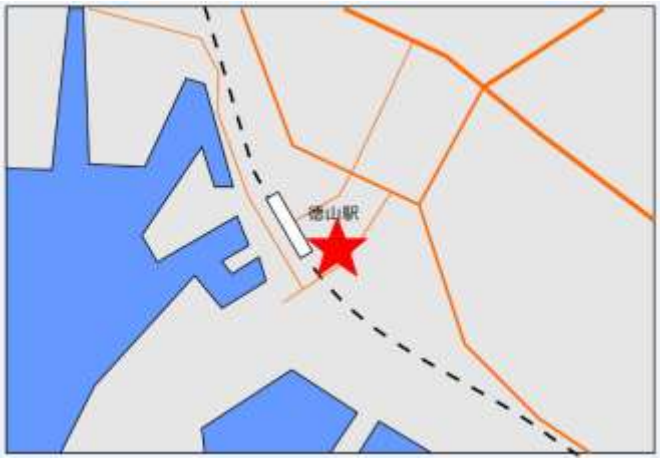
(5) 中心商店街（アーケード）

周南市中心部の商店街は、商工会議所やまちづくり団体等が主催する大型イベントの会場として定着しており、イベントノウハウの蓄積がある。

アーケードでのレセプションの開催を中心に、商店街の飲食店と連携した地元の「食」の提供、イベントノウハウを活かしたアトラクションの開催等の連携が可能。

レセプション会場としての活用を想定。

［活用プラン］
アーケード全体に華やかな装飾を施し、商店街の飲食店等が自慢のメニューでもてなす、祭りのような空間を演出する。伝統芸能や楽器の生演奏の披露も同時にお楽しみいただく。周辺にライブハウス等の施設もあるため、一体となった活用も考えられる。



中心商店街

徳山夏祭り

＜このユニークベニューで提供できるソフト＞

・周南市ならではの飲食の体験（屋台形式の立食パーティー）
・衣料品店と連携しての浴衣・着物体験
・郷土芸能等のアトラクションの鑑賞
・祭りのような空間の演出

＜このユニークベニューと相性の良いプラン＞

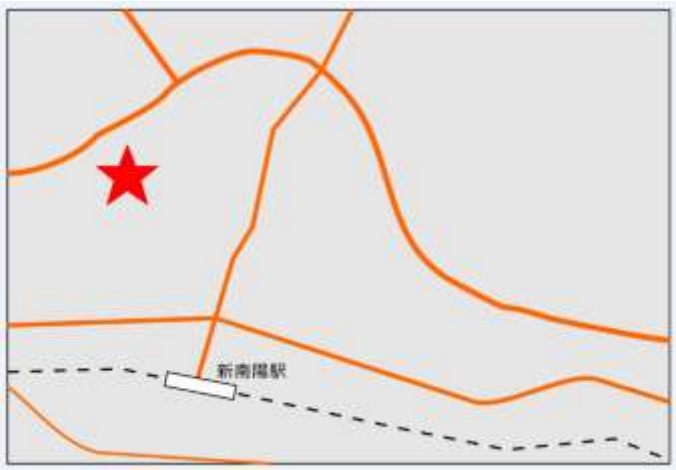
・ライブハウスでの交流イベント開催
・「周南冬のツリーまつり」等の大規模イベント
・まちのポートでの観光案内、特産品等の購入

(6) 永源山公園

周南市はオランダのデルフザイル市と姉妹都市であり、これに関連して永源山公園には日本最大級のオランダ風車「ゆめ風車」が設置されている。風車付近には催し等に活用できる野外広場がある。園内には噴水や人口滝が配され、郷土美術資料館も併設されている。

ゆめ風車付近の野外広場や、郷土美術資料館を活用してのレセプション、講演会、会議等を想定。

［活用プラン］
水と緑に囲まれた広々とした空間は、周南市を一望できる景色の良さも魅力。風車の中も展示やストリートオルガンがある。公園周辺には酒蔵や病院を改装した店舗もあり、まち歩きを楽しむこともできる。



永源山公園のゆめ風車

周南市郷土美術資料館･尾崎正章記念館

旧日下医院

＜このユニークベニューで提供できるソフト＞

・郷土芸能等アトラクションの鑑賞
・花の観賞（チューリップ、つつじ）
・ストリートオルガンの演奏

＜このユニークベニューと相性の良いプラン＞

・ゆめ風車通りの活用
・旧日下医院との連携プラン（昭和３年に建てられた元病院は国の登録有形文化財。建物内にはレトロな雰囲気をそのままに、花屋、雑貨店、カフェ等が入店。体験メニューの提供などが想定できる。）
・酒蔵ツアー
・ジャズ喫茶

(7) 徳山動物園

ＪＲ徳山駅から比較的近い場所に立地するまちなか動物園。園内には、主にケージ型の動物舎が隣接して配置されており、動物たちをできるだけ間近で観察できるように工夫されている。今後、次世代エネルギー装置などのエコロジー展示を組み合わせた「環境配慮型次世代エネルギー」をテーマとするテーマパーク型動物園として 2020 年に全面リニューアルする予定である。

動物園一帯は徳山藩主毛利氏の屋敷があった場所で、園内には毛利氏ゆかりの史跡もある。

講演、会議、レセプション等での活用を想定。

［活用プラン１］
動物園内の広場等で会議、講演を行い、動物園の展示等を見学。周辺の美術博物館や毛利氏ゆかりの史跡等の歴史関連施設、桜並木等の自然をご案内し、周南市の文化エリアを楽しんでいただく。リクエストに応じ、動物園のバックヤードツアーなども提供可能。

［活用プラン２］
夜の動物園を特別に貸し切り、園内の中央ステージ等でレセプションを行う。普段見ることの出来ない動物の生態を間近で観察するなど、夜の動物園ならではの雰囲気を楽しんでいただく。

徳山動物園の様子

＜このユニークベニューで提供できるソフト＞

・動物園（環境関連施設含む）、特別企画展の見学
　※2015 年夏の特別企画展「ごきぶり展」は来場者３万人を達成。海外メディアにも取り上げられるなど好評を博した。
・バックヤードツアー
・夜の動物園開園
・フクロウなどのフライトショー

＜このユニークベニューと相性の良いプラン＞

・美術博物館における企画展
・文化会館における文化公演、音楽コンサート
・歴史探訪、まち歩き（児玉神社等）
・桜並木

(8) ボートレース徳山

ボートレース徳山には一般非公開の貴賓室があり、貴賓室の利用はボート関係者や視察団体、大口顧客、招待客等に限られ、年数回利用されている。

貴賓室でのレセプション、会議、分科会、役員会の開催を想定。

［活用プラン］
バックヤードツアーや、プロのボートレーサーの操縦で二人乗りの「ペアボート」に試乗して、レースの醍醐味を味わっていただく特別な体験もできる。ボートレース場の近くには、ふぐはえ縄漁の発祥の地である粭島があり、漁法の説明や特産のふぐを味わっていただくなどの楽しみも提供可能。

ボートレース場

貴賓室

＜このユニークベニューで提供できるソフト＞

・ボートレース観戦
・施設の視察
・ペアボート体験
・バックヤードツアー

＜このユニークベニューと相性の良いプラン＞

・粭島（貴船神社夏祭り）
・ふぐ料理等の提供
・ふぐ延縄漁の説明
・太華山山頂から眺める景色

(9) クルーズ船

周南市は海に関する地域資源が数多くあり、クルーズ船を利用することで複数の資源を組み合わせることが可能。眺めを楽しみながら時間を過ごせる。船内でのレセプションを想定。

［活用プラン］
夕刻からのレセプションにより、徳山湾上から日本七大工場夜景の一つに数えられる周南工場夜景を一望することができ、工場夜景ガイドの説明により、工場夜景の魅力を楽しむことが出来る。
また、周南の海の幸や地酒を堪能したり、生演奏の演出などを提供することも考えられる。

大津島巡航船

工場夜景クルーズの様子

＜このユニークベニューで提供できるソフト＞

・工場夜景の鑑賞
・音楽演奏
・伝統芸能の鑑賞
・地酒、ふぐ料理等の提供

＜このユニークベニューと相性の良いプラン＞

・工場夜景ツアー
・大津島観光
・花火観賞

(10) 自然（桜並木、芝桜、万葉の森）

周南市美術博物館がある花畠町から毛利町にかけての通りは、３月下旬から４月中旬にかけて桜並木が美しい。周南緑地の中にある公園「万葉の森」では茶室が利用できるほか、四季の花が楽しめる。周南市大道理（鹿野地）は、４月下旬から５月下旬にかけて棚田に 10 万本の芝桜が咲き誇る。

［活用プラン１］
文化会館でコンベンションを行った後、桜並木を会場としてレセプションを実施。桜がトンネルのように続く通りは大変美しく、特別感がある。周辺に美術博物館や動物園もある文化エリアであり、散策も組み合わせて周南市の自然と文化をお楽しみいただく。

［活用プラン２］
キリンビバレッジ周南総合スポーツセンターでのスポーツ大会の後、レセプション会場としての万葉の森の活用がおすすめ。花に囲まれた特設会場でアトラクションを鑑賞しながら会食を楽しんでいただいた後、公園内の茶室で抹茶と和菓子のおもてなしをする。

［活用プラン３］
４月下旬から５月下旬にかけてであれば、会議・分科会・役員会の会場として、大道理夢求の里交流館（旧大道理小学校）を活用いただいた後、棚田に広がる芝桜を観賞していただく。広範囲に広がる美しい芝桜は圧巻。写真スポットとしてもおすすめ。
昼食は周南市の海の幸山の幸を使った郷土料理を味わっていただく。

桜並木

万葉の森

芝桜

【四季の提案（自然、イベント等）】

四季折々の景観美を活かしたレセプションの開催を想定。また、イベントを特等席で鑑賞するなどの特別なおもてなしのほか、必要に応じて、コンベンション参加者のご家族を対象とするプログラム等を提供。

季節	名称・内容	参考画像
春	**＜桜並木＞**　３月下旬から４月中旬 周南市美術博物館がある花畠町から毛利町にかけての通り。	
春	**＜花☆ワイン周南まんま市場＞**　４月 前年秋に収穫した巨峰から作られた、徳山巨峰ワイン「SUGANE(シュガーネ)」の販売が解禁される。花・鉢物の展示・販売や周南地域の特産品販売、フードコートなど。	
春～ 初夏	**＜周南市大道理（鹿野地）の芝桜＞**　4月中旬から5月上旬 棚田に 10 万本の芝桜が咲き誇る。	
夏	**＜長田海浜公園＞** 瀬戸内の自然を残し人工的な階段護岸 350m と魚の絵をレリーフしたカラーブロックの散策道が整備されている。	
夏	**＜徳山夏まつり＞**　７月下旬 各企業、商店街などの団体が御輿をかついで練り歩く雄大な夏祭り。数箇所の会場に分かれステージショーやさまざまなイベントが開催される。	
夏	**＜サンフェスタしんなんよう＞**　８月上旬 市民総参加の祭で、パレード、花火大会、バザー等各種の催し物が行われる。	

季節	名称・内容	参考画像
秋	**＜銀杏並木＞** 秋になると周南市役所東側の岐山通りや、山口県周南総合庁舎北通の銀杏並木が美しい。	
秋	**＜須金フルーツランド＞** 豊かな自然に囲まれた観光農園。13 農園が合計約 30 ヘクタールの農園で、二十世紀や豊水などのナシ、巨峰やピオーネなどのブドウを栽培している。 毎年８月下旬には「須金なし・ぶどう祭り」が開催される。	
冬	**＜かの冬花火「銀嶺の舞」＞** 12 月上旬の土曜日 鹿野で行われる珍しい冬の花火大会。花火と光と音響をコラボレーションさせ、夜空を彩る。	
冬	**＜周南冬のツリーまつり＞** 11 月中旬～１月中旬 徳山駅前街路樹を電飾やＬＥＤライトで飾る周南の冬の風物詩。12 月中には集中イベントが開催される。	
冬	**＜八代のナベヅル＞** 10 月終わりから３月末頃 八代は本州唯一のナベヅル越冬地である。	

３．ユニークベニュー活用にあたって

（１）ソフト面の充実

ソフト面の充実を図るにあたっては、「見た目のインパクト」と「ストーリー性」が重要である。参加者がＳＮＳ等で情報発信したくなるようなものが理想である。

①伝統芸能・アトラクション

ユニークベニューはレセプション会場として活用するケースが多い。そこで、レセプションを盛り上げる伝統芸能の鑑賞のほか、アトラクションになり得る資源を地域から掘り起こしたり、新たに創り上げ、10～15 分のプログラムとして構成し提供する。

②地元の食、酒

周南市の食や地酒の魅力をアピールする。例えば、ミラノ国際博覧会の「日本館」のイベントで披露されて話題になった、ふぐの「鶴盛り」の実演で「周南のふぐ」をアピールする等が考えられる。

③体験型メニュー

体験型のメニューは、コンベンション参加者のみならず、観光客のニーズが高い。市内では、地域の資源を活かした自然体験や民泊、和紙づくり等の幅広い体験型メニューが楽しめ、これらの体験メニューは、ユニークベニューに組み合わせるソフトとして十分に活用できるため、更に開発を進めることが望ましい。

④水素

周南市では、水素が大量に製造されている優位性を活かし、水素による持続可能なまちづくりを推進し、産業振興や地域振興の促進を目指している。

そこで、「水素水を使ったウェルカムドリンク（事業者との連携によるソフトドリンクやカクテルの開発）」、「水素自動車による送迎」、「水素ステーションの見学」等、水素に関係するソフトの開発で、周南市の地域特性をアピールする。

（２）情報発信

ユニークベニューに係る情報発信ツールは、ホームページとパンフレットが一般的であるが、ホームページを見てもらうための仕掛けが必要であり、パンフレットの場合は、情報を必要としている団体等にタイムリーに提供することが求められる。

①インターネット等

「ユニークベニュー」でインターネット検索を行うと、トップに表示されるのは日本政府観光局（ＪＮＴＯ）のサイトである。自治体のホームページについては、８番目に名古屋観光コンベンションビューロー、10 番目に仙台コンベンションＷＥＢサイトが表示され、11 番目以下は次ページの表示となる。

ホームページの充実度については、仙台コンベンションＷＥＢサイト等が参考となるが、同程度のホームページを作ったとしても、周南市のサイトが検索の上位に入る可能性はそれほど高くない。ユニークベニューに関する取組が後発である周南市の場合、情報発信においても、より戦略的な発想が求められる。

そこで、ユニークベニューに係る情報発信ツールとしての事例は少ないが、観光関係の情報提供で成功事例のある動画の活用も考えられる。（例：動画共有サイトに周南市のユニークベニュー専用チャンネルを開設して動画をアップロードする。）

参考事例：全日本空輸株式会社（ANA）訪日外国人向けのプロモーションメディア「IS JAPAN COOL?」

＜IS JAPAN COOL?＞

○You Tube

https://www.youtube.com/watch?v=5ozg-B2G0rw

○専用サイト

ＵＲＬ：https://www.ana-cooljapan.com/

②パンフレット

パンフレットを作成する際には、わかりやすいマップを作製してイメージを持たせたり、クーポン券の形式にしてお得感を演出するなどの工夫が考えられる。紙媒体に印刷して配布することに加え、インターネットでダウンロードしてもらう環境も用意する必要がある。

③その他

他地域から周南市にビジネスやコンベンションで訪れる方など、様々なチャンネルを活用し、周南市のユニークベニューの情報を伝え、周南市の紹介をしてもらえるように働きかける。

（３）官民の連携

ユニークベニューの活用によるコンベンション誘致を成功させるためには、官民の連携による取り組みが必要不可欠である。

ユニークベニューとなるハードの掘り起しも、魅力的なソフトの開発も、行政と民間が一緒になって取り組み、コンベンション参加者に満足していただくとともに、取り組みに参画している「民」にとってもメリットが感じられる内容としていくことが望ましい。

周南市においては、周南観光コンベンション協会と連携して取組を進めており、平成 27 年度より関係者でコンベンション連絡会議を立ち上げたところである。今後はこの取組を更に進め、旅行業者や宿泊業者等とも協力していくことが望ましい。

官民の連携による取り組み例として、新潟県 MICE 研究協議会が参考になる。

新潟県 MICE 研究協議会は、県内の MICE 運営関連企業が中心となり、コンベンション推進機関、コンベンション施設等との連携して、新潟の魅力・資源を活かしたパーティーやチームビルディングなどの会議向けプログラムを提案している他、誘致活動、先進地視察研究、国内他地域との情報交換や連携等、コンベンション誘致に係る様々な活動を展開している。

＜新潟県 MICE 研究協議会＞

目的：　県内のコンベンション関連企業・団体の連携強化
　　ＭＩＣＥ研究、推進方策検討
　　県内の資源・魅力を組み入れたＭＩＣＥの企画・運営の能力向上、人材育成
　　ＭＩＣＥ開催地としての新潟県の魅力向上
　　交流人口の拡大

活動：　新潟の魅力・資源を活かしたＭＩＣＥモデルの検討
　　メンバーによる共同誘致活動
　　ＭＩＣＥ先進地の視察・研究
　　ＭＩＣＥ推進に関するセミナー、講演会の開催
　　県内ＭＩＣＥ開催関係者のデータベース化
　　国内他地域との情報交換、連携

会員：　新潟県、上越市、コンベンション協会、旅館ホテル組合、企業

ユニークベニュー・ユニークプログラム（随時追加更新されている）
　水辺のサンセットカフェ＆コンサート
　中越大震災の地を巡る「防災モ・シ・モ・ツアー」
　～あなたのために～長岡花火「打上開始でございま～す！ 」
　えちご地酒塾　醸造の不思議と食との饗餐
　船の上から見る佐渡　トキめき感動の秘境外海府クルージング　等

出典：新潟市ホームページ
　　ＵＲＬ：http://www.pref.niigata.lg.jp/koryu/1343685636594.html
　　協議会案内チラシ
　　ＵＲＬ：http://www.pref.niigata.lg.jp/HTML_Article/855/703/micekyougikai.pdf

（4）支援メニュー

ユニークベニューとなるハードやソフトの磨き上げを行うと共に、これまで実施してきたコンベンションの開催協力体制に加えて、ユニークベニューの活用を希望する主催者の相談を受けたり、各種調整に対応する窓口が必要となる。

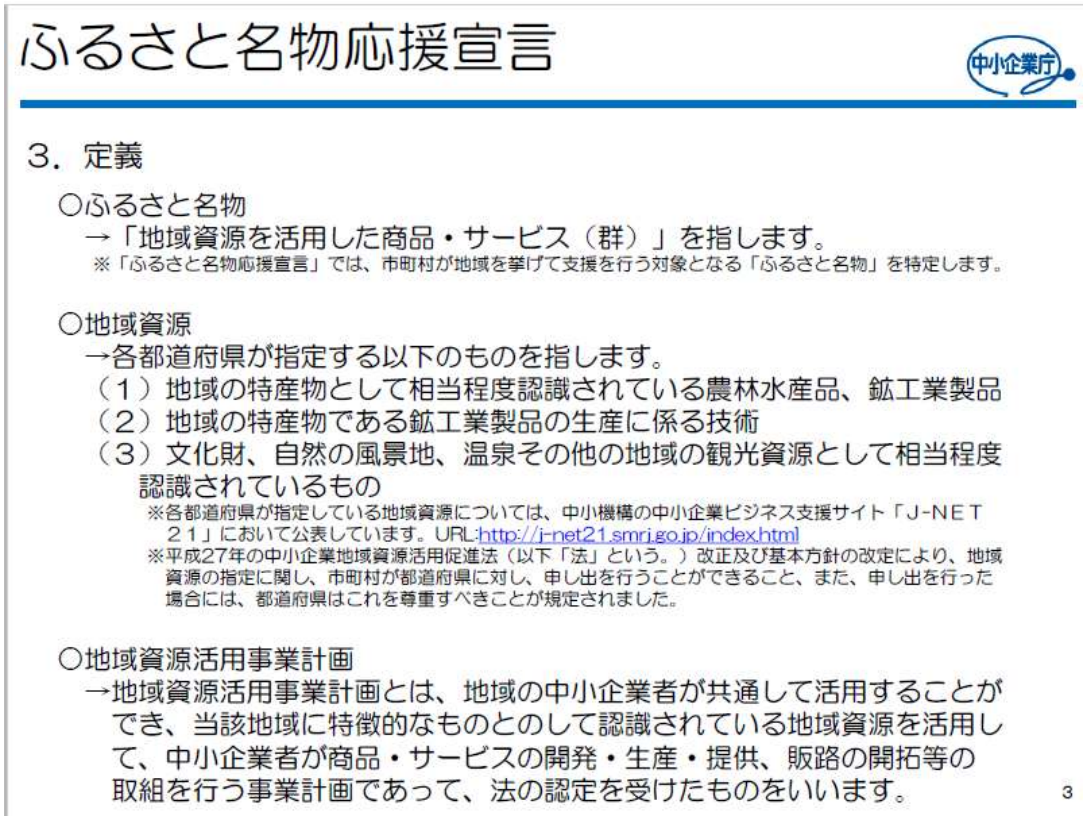
また、支援メニューの一つとして、ユニークベニューの活用に特化した補助金等の創設を検討をすることが望ましい。

なお、国の制度を活用し、取組を加速させることも考えられる。

＜国の制度例＞

地域資源法改正に伴い、中小企業庁では、地域ブランド創出の取組を促進している。

地域ブランドをつくり、地域経済の活性化を進める為には、地域の実情に通じ様々な関係者との連携の軸となりうる市町村(特別区を含む。）が旗振り役となって、地域を挙げた取組を推進していくことが必要となる。こうした観点から、市町村において、地域を挙げて支援を行う「ふるさと名物」を特定し、「ふるさと名物応援宣言」として積極的な情報発信を行うと、地域資源活用事業計画の補助金においての優先採択やふるさとプロデューサー育成事業への優先参加、ミラサポでの情報発信といった優先措置が受けられる。（「ふるさと名物応援宣言」が中小企業庁の基準に合致することが必要。）

「ふるさと名物応援宣言」によって、周南市の情報が、経済産業省、中小企業庁といった国の機関から発信されるＰＲ効果が期待できるのに加え、地域資源活用事業計画の補助金に採択されれば、モニター体験等に係る費用等も補助対象と成り得る。

（参考）http://www.chusho.meti.go.jp/shogyo/chiiki/2015/150708hurusato.htm